

第 31 期第 7 回地区会長会

日時 平成 29 年 11 月 8 日 (水)
19 時～

場所 区役所 4 階会議室

1 あいさつ

2 議題

(1) 市定例会報告 …P 1

⇒第 73 回国民体育大会冬季大会 (1/26～2/1) 運営協力について【締切 11/21】…P 5

1/28 (日) 横浜銀行アイスアリーナ 3 名

⇒H29 年度神奈川県スポーツ推進委員大会 (2/4) 参加者について【締切 12/5】 …P19
被表彰者込みで 20 名

⇒H29 年度横浜市スポーツ推進委員大会 (1/21) 参加者について【締切 12/5】 …P23

被表彰者: 6 名、一般参加者: 19 名、区会長、研修部員、運営協力員: 2 名 (広瀬さん、佐々木さん)

※各地区で被表彰者へ出席が可能か確認をお願いします。出席できない場合は一般参加者とは別に代理の方をたててください。

(2) 第 48 回瀬谷区マラソン大会 (1/21) の派遣者について【締切 11/21】 …P45

(3) 第 2 回さわやかスポーツ種目講習会 (2/4) の参加者について【締切 12/5】 …P47

(4) 提出物の確認

ア 横浜シーサイドトライアスロン大会振り返りシートについて【締切 11/8】 …P50

イ 12 地区交流会 (2/25) への参加について【締切 11/8】 …P50

ウ アシックス・ランニングクリニック (11/11) への参加者について【締切 11/8】 …P49

3 各部会報告

(1) 研修部会

〈次回の研修部会〉 1 月 16 日 (火) 区役所 3 階会議室 19 時～

(2) 企画部会 …P51

瀬谷ふるさとウォーク大会実行委員会報告について

〈次回の企画部会〉 11 月 15 日 (水) 19 時～公会堂会議室 1、2

11 月 15 日 (水) 19 時 30 分～全体説明会公会堂会議室 1、2

11 月 25 日 (土) 9 時～リハーサル室 2 〈前日準備〉

(3) 広報部会

スポーツ推進委員だより第 21 号発行

〈次回の広報部会〉 2 月予定

裏面あり

4 その他

5 今後の予定

- 11月23日(木・祝)神奈川県スポーツ推進委員研修会
- 11月26日(日)第26回瀬谷ふるさとウォーク大会
- 12月16日(土)五大都市スポーツ推進委員研究大会

6 配布資料

- (1) かながわ歩け11月号(各地区2部)
- (2) 瀬谷区スポーツ推進委員だより第21号(スポ推人数分)
- (3) よこはまウォーキングポイント歩数計(各地区申込み分)
- (4) 横浜マラソン従事予定者用配布物(各地区従事予定者分)

次回会長会 1月17日(水)19時～ 区役所4階会議室



横浜市スポーツ推進委員連絡協議会 11月定例会（議事録）

日 時：平成 29 年 11 月 1 日（水）
午後 7 時から

会 場：横浜関内ビルスポーツ振興部会議室

■欠席

高柳会長（鶴見区）

【あいさつ】

横浜市スポーツ推進委員連絡協議会 会長 後藤 薫

【議事】

- 1 「横浜マラソン 2017」について …資料なし
説明：市民局スポーツ振興課 杉本担当課長

中止と判断した状況説明及び大会への御協力についての御礼があった。
従事者用のウェア及びキャップ等の物品については各区地域振興課に送付するので参加予定であった委員へお渡しいただくこと、各区への運営協力費については従事がなかったため支給無しとなることの説明があった。
また、出走予定であった方々には、次回大会では優先出走権を付与する予定であることの報告があった。

→了承されました。

- 2 「第 73 回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会」における横浜市スポーツ推進委員の大会従事依頼について …P5
説明：市民局スポーツ振興課 杉本担当課長

説明者：10 月定例会での説明以降に各区からいただいた意見等を踏まえ、
・従事依頼者数 各区 5 人→3 人に変更
・交通費を各人に実費支給
することとなった。資料のとおり御協力をお願いしたい。
また、説明会に参加していただく各区リーダーについては、説明会后に自
区の他の従事者に担当業務の説明をお願いしたい。

区会長：交通費をまとめて各区スポーツ推進委員連絡協議会の口座に振り込みして
もらうことは可能か？

説明者：検討します。

→了承されました。

- 3 横浜市スポーツ推進計画（平成 24 年度～平成 33 年度）の中間見直しについて
（依頼） …P9
説明：市民局スポーツ振興課 伊藤担当係長

裏面あり

説明者：後藤会長に委員になっていただいている横浜市スポーツ推進審議会において、スポーツ推進計画の中間見直しを行っており、各区会長からも御意見をいただきたい。中間見直しの素案が完成したら、各区会長に直送するので、御意見等があれば同封する意見シートにて御提出をお願いしたい。

→了承されました。

- 4 「平成 29 年度神奈川県スポーツ推進委員大会」について …P19
参加者（各区被表彰者（10 年表彰者）込みで 20 名）の取りまとめをお願いします。
※回答期限：平成 29 年 12 月 28 日（木）

→了承されました。

- 5 「平成 29 年度横浜市スポーツ推進委員大会」について …P23

- (1) 参加者の取りまとめについて
別添資料のとおり参加者の取りまとめをお願いします。
※回答期限：平成 29 年 12 月 8 日（金）
※毎年のお願いです、表彰式後の講演会終了まで、御参加いただきますよう、出席者へ周知をお願いします。
- (2) 代表登壇者（案）について
(3) 第 2 回研修部会（会場下見）の内容報告について

※被表彰者及びスタッフには、後日スポーツ振興課から出席依頼等を発送します。

区会長：代表登壇者について、選出区における被表彰者が 2 名の表彰区分については、欠席時等に備え、サブ登壇者は他区に設定するようにする。

区会長：感謝状授与時における代表登壇者の導線について、授与後の降壇は、登壇時と反対側の階段を使う方が自然ではないか？

事務局：観客席から見て授与者の前を横切ることとなるため、市の行事における方式を確認しながら再度検討したい。

→了承されました。

【お知らせ】

- 6 「平成 29 年度五大都市スポーツ推進委員研究集会」（名古屋市）の修正版要項について …資料なし

集合日時：12 月 16 日（土）午前 7:30 集合（新横浜 7:59 発の新幹線に乗車予定）

集合場所：JR 新横浜駅 JR 東海ツアーズ前（新横浜中央ビル 2 階）

※参加者には詳細を別途通知します。

- 7 平成 30 年度スポーツ推進委員関連行事予定及び諸会費の金額について …資料なし

- 8 横浜ランドマークタワースカイクライミング2018の周知について …P41

日時：平成30年1月21日（日）10時から17時（最終受付15時）

参加を希望される方は直接お申込みください。

次ページあり

【配付資料】

- (1) 横浜災害ボランティアネットワーク会議広報誌「NEWS LETTER (第 58 号)」
- (2) 大和市スポーツ推進委員広報誌「やまとスポーツ推進委員だより (第 65 号)」
- (3) 金沢区スポーツ推進委員広報誌「Kanazawa Sports 魂 (SOUL) 創刊号」

※12月は休会です。

【附註】

1. 本報自創刊以來，承蒙各界人士之厚愛，不勝感荷。茲為擴大服務起見，特在各地設立分社，以期更迅速、更週到地為讀者服務。凡有投寄稿件、廣告、訂閱等件，請逕寄各分社，以便處理。特此公告。

中華民國七十七年十二月三十一日

第73回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会における 横浜市スポーツ推進委員の大会従事依頼について

1 依頼内容

(1) 業務内容 (各区3名全員が同一班にならず、異なる班で活動いただく場合があります。)

●班の中で市職員等の補助をお願いします。

班	業務内容(案)
総務	(1) 大会運営の記録及び撮影 (2) 緊急呼出、迷子の対応及び遺失物及び拾得物の取扱 (3) プレスルーム運営補助 (4) 表彰式の運営補助 他
輸送 警備	(1) シャトルバスの乗降案内及び誘導 (2) 各会場や運行中のバスとの連絡調整 (3) 競技会場内外の巡回警備 (4) 一般観覧者等の整理及び誘導 (5) 防具トラック誘導及び防具積み降ろし 他
案内	(1) 競技会場の受付業務及び配布物の管理 (2) 大会役員、競技会役員、視察員、報道関係者の受付及び案内、関係者の観戦誘導 (3) 入場者数の把握 (4) 競技案内及び交通並びに観光の案内 (5) 駅等に設置する案内所運営 他

(2) 期間及び従事時間

期間：平成30年1月28日(日)～2月1日(木) (5日間：1日従事時間は8時間以内です)

時間：7:00～15:00の時間帯、終了時間は担当日及び業務ごとに調整します。

(3) 従事会場及び従事区 (各区3名の従事会場と従事日は同一です。)

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	計
	1/28(日)	1/29(月)	1/30(火)	1/31(水)	2/1(木)	
KOSE 新横浜 スケートセンター <small>(新横浜駅)</small>	西 港北	泉	保土ヶ谷 緑	中 南	港南 青葉 都筑	10区 30名
	鶴見 瀬谷	磯子	金沢	神奈川 栄	旭 戸塚	
横浜銀行 アイスアリーナ <small>(東神奈川駅)</small>						8区 24名

●KOSE 新横浜スケートセンター【メイン会場】

横浜市港北区新横浜2-11 (最寄駅：JR/市営地下鉄 新横浜駅)

●横浜銀行アイスアリーナ 横浜市神奈川区広台太田町1-1 (最寄駅：JR 東神奈川駅)

(4) 支給品等

スタッフウェア (当日渡し) / お弁当 (当日渡し) / 交通費 (後日振込)

(5) 従事依頼人数

各区3名 54名 (3名×18区) / 全体延 490名

なお、各区3名のうち**1名の方を、区リーダーに選出**していただきます。

(6) 説明会

区リーダー説明会を1/11(木) 18:30～神奈川県スポーツ局2階会議室 (中区本町1丁目2番地 日本経済新聞横浜支局ビル2階) で開催します。区リーダーの方はご出席をお願いします。

その他2名の方は、出席の必要はございません。説明会後に区リーダーの方から詳細をご確認ください。

(7) その他

ア 当日、スタッフウェアとお弁当を支給します。

イ 後日、交通費を支給しますので、振込先口座の確認書類をご提出いただきます。

ウ 活動費等の支給はありません。

エ 早朝の送迎バスの手配はありません (現地集合・現地解散となります)。また、駐車場はありませんので、公共交通機関による集合をお願いします。

オ 業務状況に合わせて、適宜1時間の休憩を確保します。

第73回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会 横浜市スポーツ推進委員

大会従事者報告書

□

大会運営にご従事いただきます各区のスポーツ推進委員3名の方のお名前をご記載ください。

	氏名	よみがな	支給ウエア希望サイズ (下記のいずれか1つに○)	備考
1			(M ・ L ・ XL ・ XXL)	区リーダー
2			(M ・ L ・ XL ・ XXL)	
3			(M ・ L ・ XL ・ XXL)	

◆ 区リーダー 連絡先	
電話番号	
メールアドレス	

※ 個人情報につきましては、当該アイスホッケー競技会の開催にかかる連絡等について使用させていただきたくこととし、厳重に管理します。

- * 区リーダーの方は、平成30年1月11日(木)18:30~神奈川県スポーツ局2階会議室(中区本町1丁目2番地 日本経済新聞横浜支局ビル2階:別紙会議室案内図あり)で開催する、説明会(必須)にご出席いただきます。
- * 支給ウエアは、ブルゾンタイプの上半身のウエアです。従事時期が1月末の冬季であるため、厚着を想定したうえで希望サイズのご検討をお願いします。
- * 本票は、平成29年11月25日(金)までにご回答をお願いします。

神奈川県スポーツ局2階会議室への案内

第73回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会 横浜市スポーツ推進委員の区リーダー説明会を、平成30年1月11日(木)18:30~次の会場で行いますので、各区1名の区リーダーの方につきましては、ご出席をお願いします。

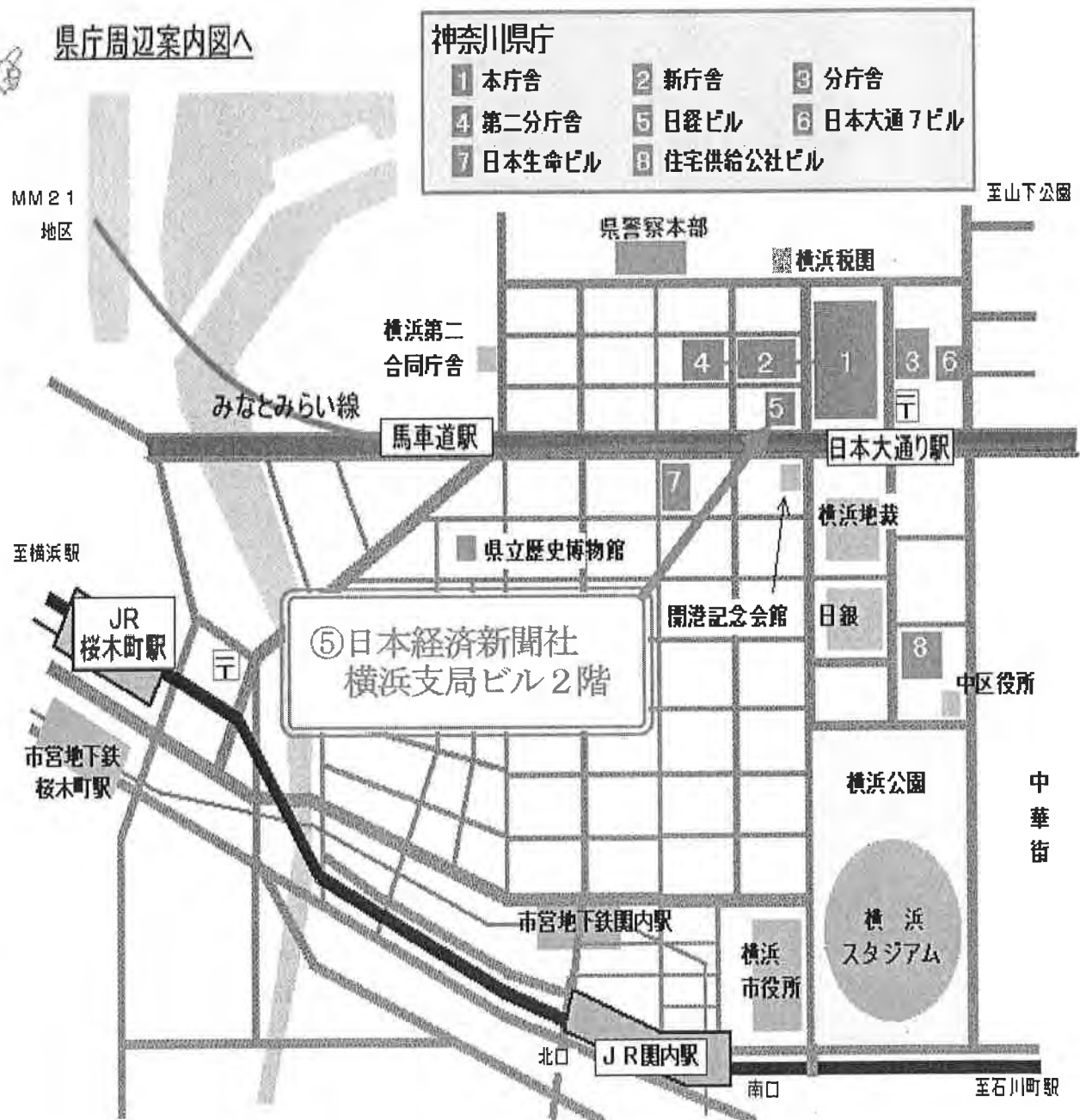
■所在地

〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町1丁目2番地 日本経済新聞横浜支局ビル2階
 TEL (045) 285-0731 FAX (045) 663-0113
 ※ 横浜市開港記念会館の海側、向かいのビルです。

■交通

JR根岸線「関内」駅下車 徒歩11分 / 横浜市営地下鉄「関内駅」下車 徒歩11分
 みなとみらい線「日本大通り」駅下車 徒歩2分

県庁周辺案内図△



内閣の人事関係と関係—赤丸職川案

内閣の人事関係と関係—赤丸職川案
 内閣の人事関係と関係—赤丸職川案
 内閣の人事関係と関係—赤丸職川案

赤丸職川案

赤丸職川案
 赤丸職川案
 赤丸職川案

赤丸職川案

赤丸職川案
 赤丸職川案
 赤丸職川案



横浜市スポーツ推進計画（平成 24 年度～平成 33 年度） の中間見直しについて（依頼）

1 趣旨

第 22 期横浜市スポーツ推進審議会等の御意見をもとに、平成 25 年 3 月に策定した横浜市スポーツ推進計画（平成 24 年度～平成 33 年度）は、計画の進捗状況、社会経済情勢、国の政策動向等の変化に対応するため、策定後 5 年を目処に中間見直しを行うこととしています。

このため、これまでの計画の進捗状況等を踏まえて、第 24 期横浜市スポーツ推進審議会等から御意見をいただきながら、今年度に計画の中間見直しを行います。

つきましては、後日会長宛てにスポーツ推進計画（中間見直し版）の素案と意見シートを御郵送致しますので、御意見等がございましたら、後日郵送させていただきます。意見シートに御記載頂き、御返信をお願い致します。なお、特に区でとりまとめていただく必要はございません。

お手数をおかけしますが、何卒宜しくお願い致します。

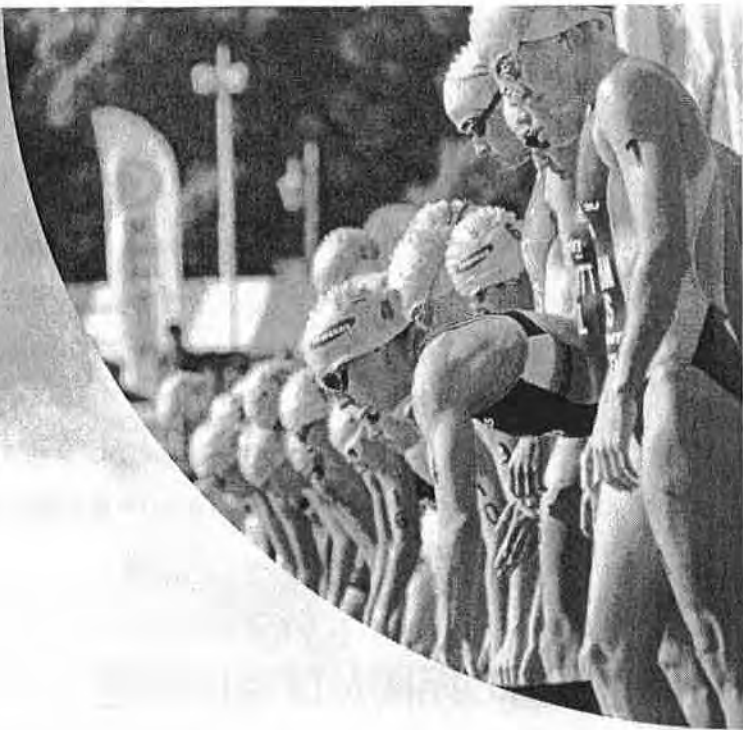
2 中間見直しのスケジュール（予定）

平成 29 年 7 月 27 日	第 24 期横浜市スポーツ推進審議会 第 1 回会議
平成 29 年 9 月 14 日	常任委員会報告 横浜市スポーツ推進計画の中間見直しについて
平成 29 年 11 月	第 24 期横浜市スポーツ推進審議会 第 2 回会議
平成 29 年 11 月～12 月	関係団体への意見徴取
平成 29 年 12 月	常任委員会報告 横浜市スポーツ推進計画（中間見直し）素案について
平成 30 年 2 月	常任委員会報告 横浜市スポーツ推進計画（中間見直し）案について
平成 30 年 3 月	第 24 期横浜市スポーツ推進審議会 第 3 回会議 横浜市スポーツ推進計画（中間見直し）策定

3 送付予定資料

- (1) 横浜市スポーツ推進計画（中間見直し版）素案
- (2) 意見シート

※ 11 月下旬～12 月頃の送付を予定しています。



概要版

横浜市スポーツ推進計画

～スポーツで育む地域とくらし～

平成25年3月
横浜市



策定の目的

スポーツを通じて、子どもから高齢者まで全ての市民がいいきとした生活を送るとともに、地域住民の交流や心豊かなくらしができるよう、市民の多様化するニーズを把握し、子どもの体力向上や市民の健康づくり、また、大規模スポーツイベントを開催することによる横浜の発信力の強化や地域の活性化などに取り組む必要があります。

そのために、横浜市の現状や課題を踏まえつつ、横浜の置かれた特性を生かしながら、スポーツ振興の方向性を体系的に示し、スポーツ施策をより一層効果的・効率的に推進していくことを目的として、新たなスポーツ推進計画を策定しました。

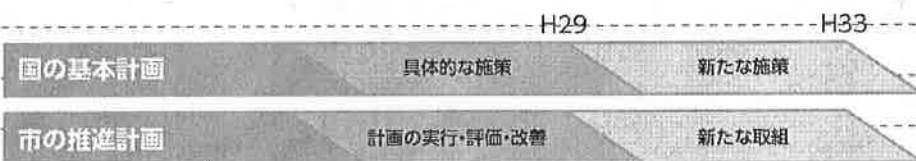
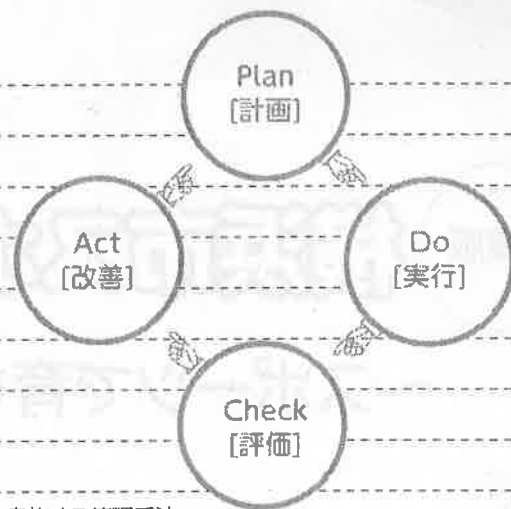
計画の期間及び進捗管理

横浜市スポーツ推進計画の計画期間は、平成24年度から平成33年度までの10年間とします。

なお、横浜市スポーツ推進計画は、計画の進捗状況、社会経済情勢、国の政策動向等の変化に対応するため、策定後5年を目処に中間見直しを行います。

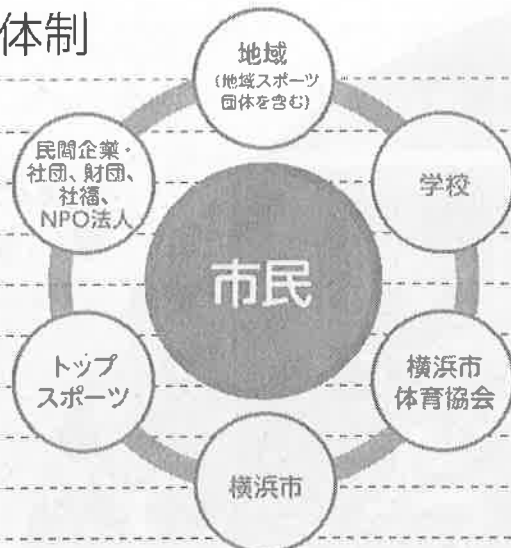
また、横浜市スポーツ推進計画の目標の実現に向けて、PDCAサイクル（※）を導入し、定期的に評価結果を市民に公表していきます。

※Plan（計画）－Do（実行）－Check（評価）－Act（改善）を順に実施する管理手法



計画の実現に向けた連携・協働体制

横浜市スポーツ推進計画で定めている目標は、行政だけでは、到底、達成することはできません。市民の皆様をはじめ、地域、学校、民間企業、社団法人、財団法人、社会福祉法人、NPO法人、トップスポーツ、横浜市体育協会及び横浜市が、それぞれの役割や責任を踏まえ、連携・協働して、計画の実現を目指します。





1 市民(地域)のスポーツ活動

現状: ①スポーツ実施率54.5%(全国45.3%)
 ②スポーツを行う理由「健康・体力の増進」が1位 (64.5%)
 課題: ①身近な場所でスポーツができる環境の確保
 ②スポーツボランティアの確保

4 障害者のスポーツ

現状: スポーツ・芸術活動に参加している割合が低い(40.5%)
 課題: ①障害者スポーツを指導できる人材の確保
 ②身近な場所でスポーツができる環境の確保

2 子どもの体力

現状: ①昭和60年頃と比べて低い
 ②全国と比べても全体的に低い
 課題: ①スポーツをしない子ども達に対しての啓発や取組
 ②部活動の顧問の確保、専門的な技術指導のできる教員の不足

5 スポーツ施設

現状: 市民大会や全国規模の大会を開催できる屋内スポーツ施設の不足
 課題: ①日産スタジアムをはじめとした大規模スポーツ施設等の市民開放
 ②大規模屋内スポーツ施設整備の検討

6 大規模スポーツイベント

現状: 国際的なスポーツイベントの開催が期待されている(47.8%)
 課題: 公的負担に頼らない財源の確保(協賛金や放映料等)

3 高齢者のスポーツ

現状: ①市民の約5人に1人が65歳以上
 ②スポーツ実施率が他の世代に比べ高い(55.2%)
 課題: ①高齢者率が高くなっていく中で、健康づくりや介護予防等の様々なニーズに対応
 ②100万人の健康づくりの推進

7 プロスポーツチーム

現状: スタジアムや体育館等でスポーツを観戦していない市民の割合 (58.4%)
 課題: プロスポーツチームと連携した地域・学校等のスポーツ振興機会の増加



横浜DeNAベイスターズ



横浜F・マリノス



横浜FC



横浜ビー・コルセアーズ



1 スポーツ推進の意義

スポーツを推進することは、子どもの心身の健全育成や体力の向上、生活習慣病予防による医療・介護費の削減の効果があります。

少子高齢化の進展や、生活が便利になることにより体を動かす機会が減少している現代社会において、生涯にわたりスポーツに親しむことは、体を動かすという人間の本源的な欲求に応えるとともに、爽快感、達成感等の精神的充足や楽しさ、喜びをもたらします。

また、スポーツを通じたまちづくりや村おこしに取り組んでいる都市もあるなど、スポーツには、地域コミュニティの活性化や市民活力の創出、地域経済の活性化等の効果も期待されています。

子どもの
健全育成
体力の向上

地域
コミュニティの
活性化

スポーツの
推進

健康づくり
医療・介護費
削減

市民活力の創出
経済の活性化

2 スポーツ推進の基本目標

横浜市スポーツ推進計画は、スポーツを通じて、子どもから高齢者まですべての市民がいきいきとした生活を送るとともに、地域住民の交流や心豊かな暮らしを育むことを目指します。

その際、スポーツを実際に「する人」だけではなく、トップレベルの

競技大会やプロスポーツの観戦等のスポーツを「観る人」、そして指導者やスポーツボランティアといった「支える(育てる)人」にも着目し、市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を整えます。

目標1 子どもの体力向上方策の推進

【目標値】

子どもの体力を横浜市の昭和60年頃の体力水準に回復します。

目標2 地域スポーツの振興

【目標値】

成人の週1回以上のスポーツ実施率が65パーセント程度(3人に2人)、週3回以上のスポーツ実施率が30パーセント程度(3人に1人)となることを目標とします。

また、スポーツボランティアを行ったことがある市民の割合を10パーセント以上となることを目標とします。

目標3 高齢者・障害者スポーツの推進

【目標値】

65歳以上の週1回以上のスポーツ実施率が70パーセント程度となることを目標とします。

また、地域において自主的に障害者のスポーツ活動を行っている団体等を18区に立ち上げます。

目標4 トップスポーツとの連携・協働の推進

【目標値】

トップアスリートが参加するスポーツ大会やプロスポーツを間近で観戦した市民の割合を50パーセント以上となることを目標とし、市民がトップアスリートに触れる機会を増やし、スポーツを行う意欲の向上につなげます。



目標1 子どもの体力向上方策の推進

取組
1

幼児期における運動習慣の啓発・普及活動

体力の重要性に関する保護者の啓発セミナーや親子で体験できる各種運動プログラム等を実施します。

また、保育所や幼稚園にスポーツ指導者等を派遣し、遊びながら体を動かす楽しさを子どもたちに伝えていく事業を実施します。

取組
2

横浜市子どもの体力向上プログラムに基づく取組の実践

平成23年3月に横浜市教育委員会で策定された「横浜市子どもの体力向上プログラム」に基づき、学校・家庭・地域の連携による体力向上に向けた取組を実践推進していきます。(このプログラムは、生活習慣、運動習慣の改善を図るなど、運動に親しみ、自らの健やかな体をつくる子どもの育成に向けた取組を示している。)

平成24年度から、市内小中学校全校で体育・健康に関する指導の全体計画である「体育・健康プラン」を作成し、そのプランに基づき、学校の特色を生かした「体力向上1校1実践運動」を実施しています。

取組
3

子どもの体力向上事業の実施及び拡充

中休みや放課後等を活用して、児童が関心を持てる運動やスポーツを紹介し、定期的に運動に親しむ機会や必要な用具等を提供(貸与)し、児童が主体的、日常的に体を動かすことのできる「いきいきキッズ事業」を拡充し、引き続き実施していきます。

また、地元の大学と連携し、学校や地域に体育部所属の学生等を派遣し、授業の補助や教室事業等を実施します。

取組
4

放課後児童育成事業へのプログラム協力

放課後、土曜日、長期休み等に実施している放課後児童育成事業に、地域のスポーツ指導者の派遣やプログラムを提供することにより、児童が運動に親しむ機会を増やし、運動の楽しさや関心を深めます。

取組
5

学校体育施設(校庭、体育館等)を利用した学校開放事業へのプログラム協力

学校開放事業は、学校体育施設を利用し、子どもや地域住民が身近にスポーツを親しめる場となっています。そこで、学校開放事業の運営主体である文化・スポーツクラブに対し、放課後や土・日、長期休み等に地域のスポーツ指導者の派遣やプログラムを提供することにより、子どもや初心者でも気軽に参加できる仕組みをつくります。

また、地域と連携することにより、学校体育施設の利用を促進し、スポーツを通じて地域に開かれた学校づくりを目指していきます。

取組
6

地域スポーツ指導者の養成と活用

地域のスポーツ振興のために活動できる人材を養成する「横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座」を実施します。

また、「横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座」の終了者や現場で活躍している地域のスポーツ指導者に対しても、それぞれのニーズに応じた指導内容や方法などの研修を充実し、ニーズに応じた指導者を紹介するシステムの活用を促進します。

取組
7

食育の推進

日常生活をより健康的に送り、スポーツを活発に行うために、スポーツ団体(プロスポーツチームを含む)、教育委員会や食育関係団体と連携・協力しながら、子どもや保護者及び指導者等に食育の普及啓発を行っています。

取組
8

トップアスリート等との連携・協力の推進

JOCパートナー都市協定を通じてのオリンピックやプロスポーツチームあるいはトップアスリートが立ち上げたNPO法人等と連携・協力することにより、トップアスリートを学校や地域に派遣し、子ども達や多くの市民が一流のアスリートと触れ合う機会を提供し、スポーツへの関心を高めます。

目標2 地域スポーツの振興

取組
5

学校体育施設(校庭、体育館等)を利用した学校開放事業へのプログラム協力【再掲】

取組
6

地域スポーツ指導者の養成と活用【再掲】

取組
8

トップアスリート等との連携・協力の推進【再掲】

取組
9

総合型地域スポーツクラブの啓発及び育成・活動支援

子どもから高齢者まで地域住民の誰もが、それぞれの体力や興味・技術に応じて、集い、活動することができるクラブが総合型地域スポーツクラブの基本理念です。その理念を既存の地域スポーツ団体や地域スポーツ・レクリエーション団体に理解してもらうことにより、総合型地域スポーツクラブへの協力や移行を促します。

また、総合型地域スポーツクラブの活動や趣旨について、横浜市の広報紙やホームページに掲載するほか、啓発イベント等を行い、市民への周知を充実させていきます。

なお、総合型地域スポーツクラブの設立希望者(団体)や総合型地域スポーツクラブへの移行を目指している既存のスポーツ団体(プロスポーツチームを含む)に対しては、クラブの設立や運営に有用な情報の提供、活動内容についてのアドバイス等を行い、設立に向けた育成支援を行います。

さらに、すでに設立されているクラブに対しては、運営の助言や情報提供等を行い、安定的な活動が行えるよう支援します。

取組
10

総合型地域スポーツクラブ間の連携・協力の促進

設立されたクラブ及び設立準備中のクラブに対し、会員の拡大や運営費の確保等の共通の課題の解決を目的とした、「横浜市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」への加入を促し、クラブ間の連携・協力を促進します。

取組
11

地域スポーツ団体や地域スポーツ・レクリエーション団体との連携

地域でそれぞれが活動している地域スポーツ団体や地域スポーツ・レクリエーション団体と連携・協力し、年齢や性別、技術等に関係なく、誰でも気軽に参加できるスポーツイベントが開催できる環境を整えます。

取組
12

市民参加型スポーツイベントの充実

横浜マラソン大会やスポーツ・レクリエーションフェスティバル、市民体育大会など、市民が気軽に参加でき、日頃の練習の成果を発揮する機会となる市民参加型スポーツイベントの充実を図ります。

取組
13

スポーツ・レクリエーション活動の充実

地域スポーツ・レクリエーション団体と連携し、子どもから高齢者まで、楽しく、気軽に参加できるウォーキングイベントや親子ふれあい体操、野外活動等のスポーツ・レクリエーション活動の充実を図ります。また、おすすめのウォーキングコースをホームページや情報誌で紹介していきます。

取組
14

市民大会・区民大会の定期的な開催 (初心者が参加できる工夫)

市民大会や区民大会を実施している競技団体と連携しながら、初心者が安心して参加できる環境を整えます。

取組
15

スポーツ推進委員の育成・活用

スポーツ推進委員が、地域スポーツ団体と連携・協力し、地域スポーツの企画・立案等のコーディネートなど、総合的な地域スポーツの推進役を担えるよう、研修等の充実を図っていきます。

取組
16

スポーツボランティアの支援

スポーツイベント等の運営を支えてくれるスポーツボランティアを育成・支援します。また、スポーツボランティアが継続的な活動をできる仕組みや、ボランティアとしての功績を称える環境を整えます。

取組
17

スポーツ情報等の提供

市民が「する」「観る」「支える」といった様々なスポーツ活動に参加しやすくなるよう、スポーツイベントの開催情報やスポーツボランティアに関する情報、スポーツ指導者、スポーツ施設の利用に関する情報等を横浜市のホームページや広報紙、または、横浜市体育協会のスポーツ情報サイト「ハマスポどっとコム」やホームページ等を通じて提供します。また、携帯端末等の身近な媒体でも情報が提供できるようにしていきます。

取組
18

スポーツ実施率の低い年齢層に向けた スポーツプログラムの充実

スポーツ団体と連携し、比較的スポーツ実施率の低い年齢層(20歳代、30歳代)向けに、シェイプアップやリズムダンス、ジョギング講習会などのスポーツプログラムや教室を開催していきます。また、スポーツに親しむことができ、低い年齢層同士の交流や心の癒しを取り入れたプログラムを研究・提供していきます。

取組
19

身近なスポーツを行う場の確保

身近なスポーツの場の確保に向けて、廃校となった学校施設の跡地や既存の公共スポーツ施設または、本来の目的に支障のない範囲で、市有地の未利用地、遊水地等の有効活用を図ります。

取組
20

大規模屋内スポーツ施設 (スケート場、武道館等)の再整備

横浜文化体育館の再整備は、関内・関外地区の街づくりを進める中で、検討します。その際、武道を行うことのできる環境整備の検討を進めます。

また、老朽化した神奈川スケートリンクの再整備に向け、横浜市としてどのような支援ができるのか、検討を進めます。

取組
21

スポーツ遺産の保存・活用

横浜はテニス、ラグビー、競馬等、多くのスポーツ文化の発祥の地であり、その歴史や伝統を継承していきます。

また、ワールドカップサッカー決勝戦の会場となった日産スタジアム等のスポーツ施設やボランティア等の人的資源、大規模スポーツイベントの運営知識やノウハウなどのスポーツ遺産を未来の横浜の子どもたちへの財産として残します。

取組
22

横浜市スポーツ医科学センターとの連携・活用

横浜市スポーツ医科学センターを活用し、スポーツ事故の防止及びスポーツ障害の予防・早期発見に関する知識の普及・啓発を指導者向けに行います。

また、横浜市スポーツ医科学センターと各区スポーツセンターが連携・協力することにより、スポーツによる市民の健康づくりの推進や、競技選手の競技力の向上を図ります。

取組
23

国際交流事業の実施

横浜市のパートナー都市や姉妹都市等でスポーツを通して、相互理解を深め、友好親善を図ることを目的とした国際交流事業を実施します。

目標3 高齢者・障害者スポーツの推進

取組
6

地域スポーツ指導者の養成と活用 【再掲】

取組
13

スポーツ・レクリエーション活動の充実 【再掲】

取組
24

100万人の健康づくり戦略の推進

「歩く」をテーマに、市民の健康行動の習慣化を図る取組として、健康づくりに関するイベントなどに参加するとポイントが貯まるなどの仕組みを導入し、地域スポーツ団体等とも連携しながら、壮年期から高齢者に至るまで、市民一人ひとりが気軽に楽しみながら継続できる取組を進めます。

取組
25

高齢者向けのスポーツ教室・イベントの実施

高齢者のニーズが高い、健康づくりや体力づくりの教室などのほかに、介護予防教室や転倒骨折予防教室など様々なニーズを考慮しながら、高齢者のスポーツ教室やスポーツイベントのより一層の充実を図ります。

取組
26

地域の高齢者サークルの活動支援

各施設や地域で現在も活動している高齢者のスポーツサークルに対し、その活動が充実するよう、スポーツ指導者の紹介やスポーツボランティアに関する情報等を提供していきます。

取組
27

地域への障害者スポーツに関するノウハウの浸透

「障害者スポーツ文化センター横浜ラポール」と協力・連携し、各区のスポーツセンターやスポーツ施設の職員等に、定期的(年に1、2回程度)に研修を実施し、障害者スポーツの開始及び継続していくためのノウハウを浸透させていきます。

また、地域のスポーツ指導者に対しては、人材養成講座を通じて、障害者のニーズや対応について、研修を行っていきます。

取組
28

障害者スポーツの場の確保と種目の普及

障害者がいつでも身近な地域で障害者スポーツを行えるようにするため、各区スポーツセンターや地区センターなどの地域資源と連携を進め、障害者スポーツを行える場を確保するとともに、主体的に取り組みやすい種目を地域に広げていきます。

取組
29

障害者団体と地域団体との連携・協力

障害者の自主的なスポーツ活動が地域に根付くように、障害者団体や地域団体とのネットワークを構築し、情報の交換や団体同士の交流を支援します。

取組
30

障害の有無に関わらず、誰もが一緒に参加できるスポーツイベントの実施

障害者・健常者が共に楽しむことができるよう、障害者団体や競技団体、地域スポーツ団体と連携しながら、誰もが安心して参加できるスポーツイベントを検討し、実施します。



目標4

トップスポーツとの連携・協働の推進

取組
8

トップアスリート等との連携・協力の推進 【再掲】

取組
16

スポーツボランティアの支援 【再掲】

取組
20

大規模屋内スポーツ施設 (スケート場、武道館等)の再整備 【再掲】

取組
21

スポーツ遺産の保存・活用 【再掲】

取組
22

横浜市スポーツ医科学センターとの 連携・活用 【再掲】

取組
31

プロスポーツチームとの連携・協働

地元プロスポーツチームが地域に密着した活動を行えるよう、各チームの状況に合わせた支援を行います。

また、横浜熱闘倶楽部を通じて、学校や地域にプロのトップアスリートやコーチを招き、技術指導や講演会を行い、市民が直接プロのチームに触れる機会を提供し、夢や感動を共有します。さらに、横浜市内において、プロスポーツチームと連携し、チームの活動や試合日程等の広報活動を充実させ、市民のスポーツへの関心を高めます。

取組
32

地域スポーツコミッション設立の検討

スポーツを横浜の観光資源とした横浜らしい地域づくりを図るため、トップスポーツチームや地域スポーツ団体及び地元企業等と連携・協働し、地域スポーツコミッションの設立を検討します。

また、地域や経済の活性化を目的としたスポーツツーリズムの推進やスポーツイベントの誘致・開催を行い、横浜の魅力を発信していきます。

取組
33

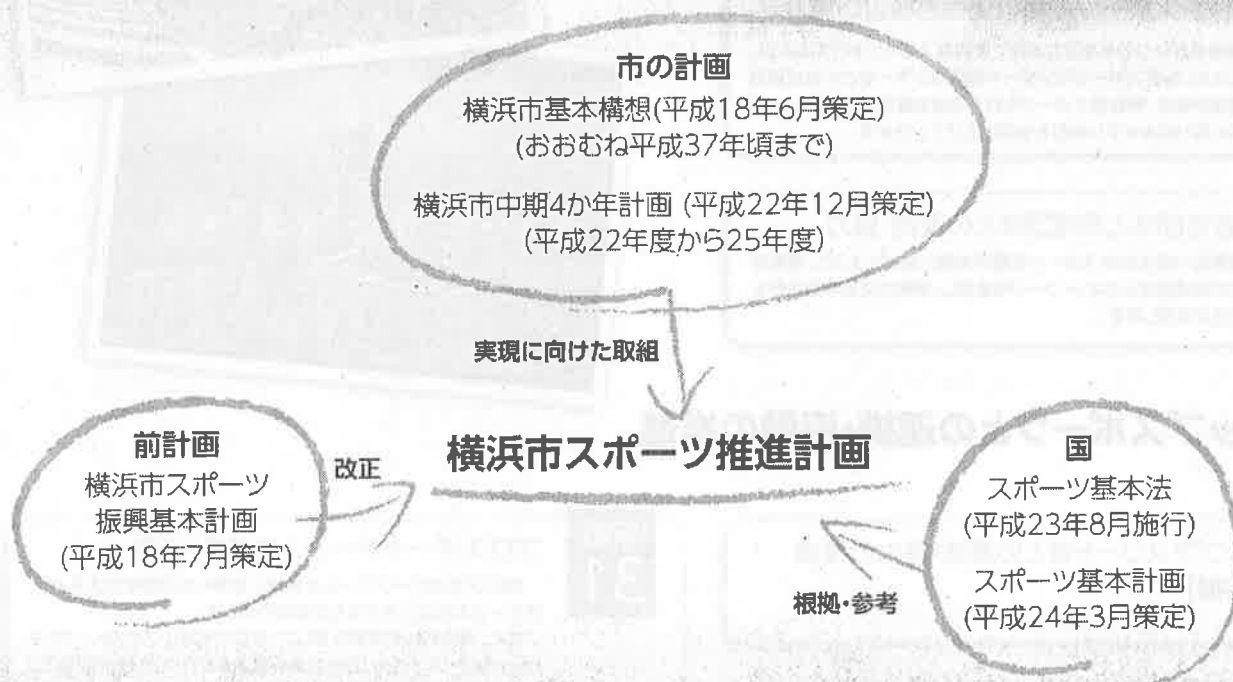
大規模スポーツイベントの誘致・開催

国際大会や全国大会などの大規模イベントの誘致に取り組み、市民のスポーツ観戦やボランティア活動に参加する機会を増やします。

また、魅力的な大規模イベントを誘致・開催することにより、世界や全国に向けた横浜の知名度のアップや、経済及び地域の活性化などにも貢献していきます。

1 計画の位置づけ

- (1)横浜市スポーツ推進計画は、横浜市の将来の都市像を示す「横浜市基本構想」(長期ビジョン)及び「横浜市中期4か年計画(施策13 スポーツや学びで育む豊かな暮らし)」(計画期間:平成22年度～平成25年度)に掲げている目指すべき都市像の実現に向け、スポーツに関する施策について、具体的な取組を示した計画です。
- (2)横浜市スポーツ推進計画は、平成18年7月に策定した横浜市スポーツ振興基本計画「いきいきスポーツプラン2010」を改正し、平成23年8月に施行された「スポーツ基本法」に基づき、国の「スポーツ基本計画」を参考に策定します。
- (3)横浜市スポーツ推進計画は、第22期横浜市スポーツ推進審議会の意見をもとに作成し、市民の皆様やスポーツ団体等からも意見をいただき、策定しました。



2 横浜市スポーツ推進計画 ～スポーツで育む地域と暮らし～

- (1)策定：平成25年3月
- (2)お問い合わせ先

横浜市市民局スポーツ振興課

〒231-0017 横浜市中区港町1丁目1番地
TEL：045-671-3287 FAX：045-664-0669
URL：<http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/sports/>

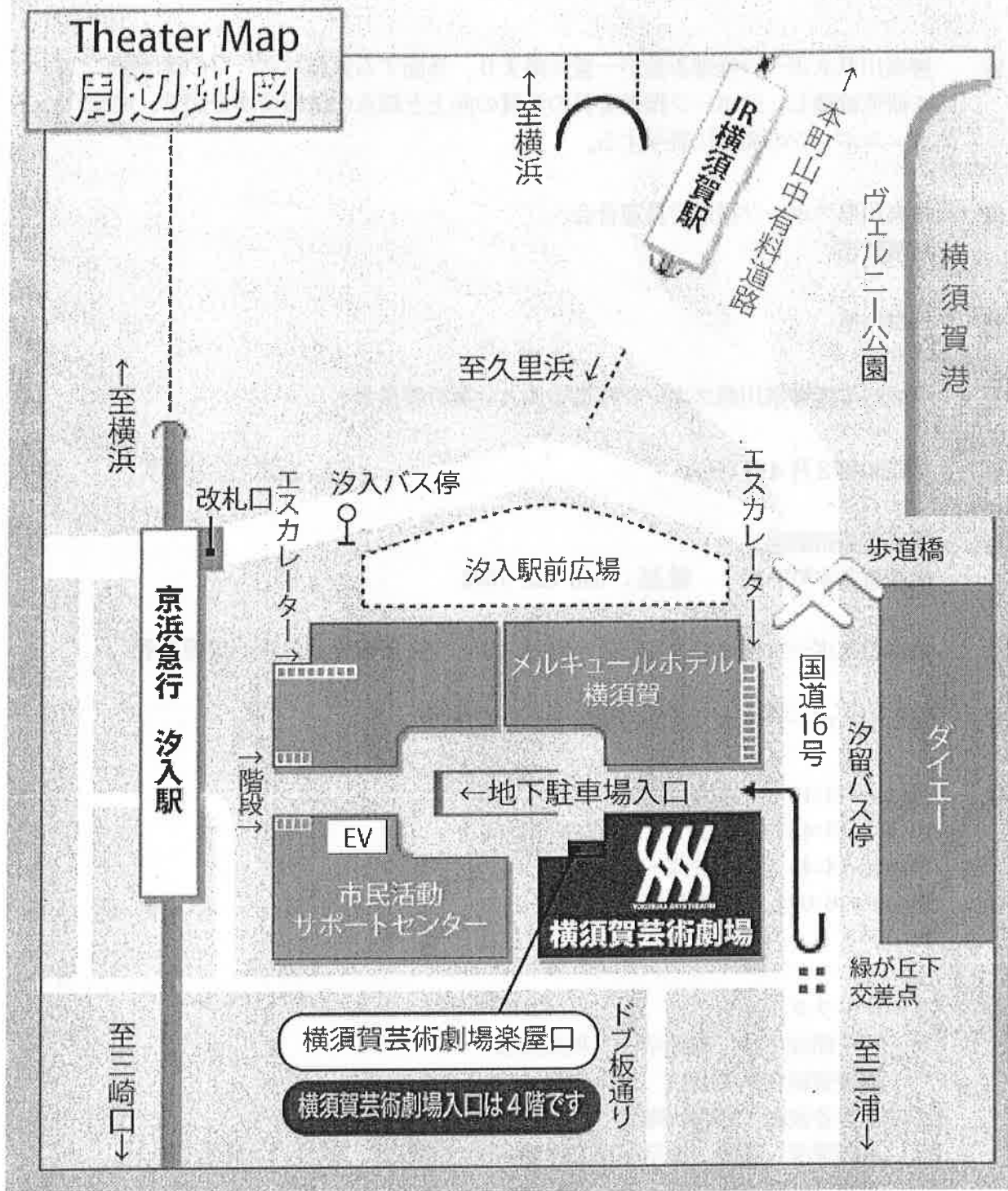


平成29年度神奈川県スポーツ推進委員大会開催要項（案）について

- 1 趣 旨 神奈川県スポーツ推進委員が一堂に集まり、当面する生涯スポーツの諸問題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質の向上と相互の情報交換を図り、地域の体育・スポーツの発展に寄与する。
- 2 主 催 神奈川県スポーツ推進委員連合会
横須賀市
- 3 共 催 神奈川県
- 4 主 管 平成29年度神奈川県スポーツ推進委員大会実行委員会
- 5 期 日 平成30年2月4日(日)
- 6 会 場 横須賀芸術劇場
横須賀資本町3-27 電話：046-828-1602
- 7 参加者 県内のスポーツ推進委員及び各市町村スポーツ主管課生涯スポーツ担当者
- 8 参加費 横浜市スポーツ推進委員連絡協議会から負担
- 9 日 程 12:45～13:15 県大会受付
13:15～13:45 アトラクション
14:00～14:45 開会式・表彰
15:00～16:00 基調講演
16:00～ 閉会式
- 10 内 容 (1) アトラクション
逗子開成中学・高等学校 和太鼓部
横須賀総合高等学校 ダンス部
(2) 功労者表彰・感謝状贈呈
(3) 基調講演 講師：神奈川県立保健福祉大学教授 鈴木 志保子 氏
演題「調整中」

横須賀芸術劇場への行き方

JR横須賀駅から徒歩8分、又は、京浜急行汐入駅から徒歩1分



横須賀芸術劇場の入口は、ベイスクエアよこすか1番館の4階になります。
国道16号側のエスカレーターをご利用ください。

平成 29 年度神奈川県スポーツ推進委員大会における
オプションイベントについて

平成 30 年 2 月 4 日横須賀市で開催される神奈川県スポーツ推進委員大会に先立ち、前回同様、午前中にオプションイベントの開催が計画されております。

<オプションイベントの概要>

(1) 軍港めぐり

内容：横須賀本港と長浦港は、米海軍と海上自衛隊が利用しており、多くの艦船を間近に見ることができます。また、幕末から日本海軍の軍港として発展してきた横須賀の海、歴史のある横須賀のまちをガイドの案内で海から眺めて楽しめます。

金額：1,260 円(最大)

定員：80 名

(2) ライフル射撃

内容：防空壕跡を利用した日本ライフル射撃協会公認の横須賀市営射撃場での実射体験です。インストラクターの指導のもとに実施いたします。

金額：300 円(最大)

定員：50 名

※金額は変更となる可能性があります。

平成29年度神奈川県スポーツ推進委員大会 参加申込書

市町村名	横浜市 区	申込代表者氏名	
------	-------	---------	--

No	氏 名	性別	役 職	被表彰者	自由参加(午前中) ※自費負担あり	
					軍港めぐり	ライフル射撃
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

☆参加申込者数 合計 _____ 人(必ず御記入ください)

- ※1 欄が不足の場合は、コピーしてお使いください。
- ※2 役職欄には、貴協議会における役職を御記入ください。
- ※3 被表彰者欄には、今年度功労者表彰を受賞される場合に○を付けてください。
- ※4 横浜市・川崎市は区ごとに1枚の用紙をお使いください。
- ※5 午前中のオプションイベントへの参加を希望される場合は、希望種目の欄に○を付けてください。

※式典には被表彰者(10年表彰者)込みで各区20名の参加をお願いいたします。

平成29年度 横浜市スポーツ推進委員大会参加者数

	区名	区スポ推人数 H29.4.1現在	被表彰者数	一般参加者数	出席者合計	区会長 (顧問込)	研修部員	運営協力員	区合計
スポーツ推進委員	鶴見区	119	7	13	20	1	1	2	24
	神奈川区	172	11	20	31	1		2	34
	西区	86	4	10	14	1		2	17
	中区	105	11	6	17	1	1	2	21
	南区	180	10	23	33	1		2	36
	港南区	141	11	14	25	1		2	28
	保土ヶ谷区	149	10	16	26	1	1	2	30
	旭区	232	20	22	42	2		2	46
	磯子区	123	11	10	21	1	1	2	25
	金沢区	126	9	13	22	1		2	25
	港北区	153	9	18	27	1		2	30
	緑区	128	7	15	22	1	1	2	26
	青葉区	178	13	17	30	2	1	2	35
	都筑区	114	9	11	20	1		2	23
	戸塚区	202	13	23	36	2		2	40
	栄区	87	7	7	14	1		2	17
	泉区	150	3	24	27	1		2	30
	瀬谷区	144	6	19	25	1	1	2	29
	小計	2589	171	281	452	21	7	36	516
スポ推合計		516							
来賓	市会				4				4
	市連会会長				1				1
	青指会長				1				1
招待	市連会				17				17
主催者	副市長・局長・区長				3				3
	スポーツ振興部				10				10
	顧問				3				3
その他	県				0				0
スポーツ推進委員 以外合計					39				39
合計		555							

※「一般参加者数」の算出方法

「一般参加者数」＝ 各区の参加者数「区合計」を案分で算出し、役員、被表彰者数を引いた人数

- 1 大会への参加必要人数516人を、各区の委員人数により按分＝「区合計」 (516人×区委員数/市委員数) 小数点以下四捨五入
- 2 「区合計」－役員(区会長、研修部員、運営協力員、動員スタッフ)＝「出席者合計」
- 3 「出席者合計」－「被表彰者数」＝一般参加者数

平成29年度「横浜市スポーツ推進委員永年勤続表彰」及び
 「横浜市スポーツ推進委員連絡協議会退任者表彰」 被表彰者数

		横浜市表彰					協議会表彰			全国	各区合計
		10年	15年	20年	25年	計	30年退任	会長歴任	計	30年	
1	鶴見	0	4	2	1	7	0	0	0	0	7
2	神奈川	1	6	1	3	11	0	0	0	0	11
3	西	0	2	0	2	4	0	0	0	0	4
4	中	1	4	0	5	10	1	0	1	0	11
5	南	0	6	2	1	9	0	1	1	0	10
6	港南	0	8	0	2	10	0	1	1	0	11
7	保土ヶ谷	2	5	2	1	10	0	0	0	0	10
8	旭	0	15	0	4	19	1	0	1	0	20
9	磯子	1	5	1	1	8	3	0	3	0	11
10	金沢	1	6	0	2	9	0	0	0	0	9
11	港北	0	3	0	3	6	2	1	3	0	9
12	緑	0	6	0	0	6	1	0	1	0	7
13	青葉	2	8	1	2	13	0	0	0	0	13
14	都筑	2	6	0	1	9	0	0	0	0	9
15	戸塚	1	10	0	1	12	1	0	1	0	13
16	栄	0	5	0	0	5	1	1	2	0	7
17	泉	0	2	0	1	3	0	0	0	0	3
18	瀬谷	1	4	0	0	5	1	0	1	0	6
合計		12	105	9	30	156	11	4	15	0	171

横浜市スポーツ推進委員大会 歴代代表登壇者 選出区一覧

		29年度(案)	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度	21年度
1	鶴見			20年表彰			15年表彰			
2	神奈川	10年表彰				25年表彰		30年退任		
3	西			15年表彰				20年表彰		
4	中	25年表彰	10年表彰					15年表彰	10年表彰	
5	南	20年表彰		10年表彰				10年表彰		25年表彰
6	港南		25年表彰				10年表彰			
7	保土ヶ谷	15年表彰				10年表彰				
8	旭			25年表彰						20年表彰
9	磯子			30年退任					20年表彰	
10	金沢						20年表彰			
11	港北				25年表彰				15年表彰	
12	緑				15年表彰				25年表彰	
13	青葉			30年表彰	20年表彰					
14	都筑					20年表彰				10年表彰
15	戸塚		20年表彰		30年表彰					
16	栄					15年表彰				
17	泉		15年表彰					25年表彰		
18	瀬谷	30年退任			10年表彰					15年表彰

【選出区決定方法】

- ① 被表彰者が1人しかいない場合は、当該人が代表者となる(該当なし)
- ② 区会長が被表彰者の場合は、該当人が代表者になるとともに、その区がサブ代表者も選出する。
(25年 米山 満(中区))
- ③ 研修部会員が被表彰者の場合は、当該人が代表者になるとともに、その区がサブ代表者も選出する。
(該当なし)
- ④ 上記3項目でも決まらない場合は、近年選出区になっていない区が選出区となる。
・(10年 神奈川区、サブ都筑区)
(15年 保土ヶ谷区)
(20年 南区、サブ鶴見区)
・(協議会(退任者)30年以上 瀬谷区、サブ栄区))

平成 29 年度 横浜市スポーツ推進委員大会 被表彰者 代表 (案)

表彰の種類	代表者			サブ代表者		
	氏名	区	座席	氏名	区	座席
10 年表彰		神奈川区	-		都筑区	-
15 年表彰		保土ケ谷区	-		保土ケ谷区	-
20 年表彰		南区	-		鶴見区	-
25 年表彰	米山 満	中区	-		中区	-
協議会(退任者) 30 年以上		瀬谷区	-		栄区	-
協議会(退任者) 区会長歴任	伊東 一郎 (栄区)、田中 照久 (港北区)、小林 正幸 (港南区) 金谷 庄三 (南区) ※全員登壇					

【選出区決定方法】

- ① 被表彰者が 1 人しかいない場合は、当該人が代表者となる (該当なし)
- ② 区会長が被表彰者の場合は、該当人が代表者になるとともに、その区がサブ代表者も選出する。(25 年 米山 満 (中区))
- ③ 研修部会員が被表彰者の場合は、当該人が代表者になるとともに、その区がサブ代表者も選出する。
(該当なし)
- ④ 上記 3 項目でも決まらない場合は、近年選出区になっていない区が選出区となる。
 - ・ (10 年 神奈川区、サブ都筑区)
 - ・ (15 年 保土ケ谷区)
 - ・ (20 年 南区、サブ鶴見区)
 - ・ (協議会 (退任者) 30 年以上 瀬谷区、サブ栄区)

「大工の国語」を学ぶための教材開発と実践

大工の国語の教材開発と実践
 大工の国語の教材開発と実践

大工の国語 (大工の国語)	大工	大工の国語	大工	大工
		大工の国語	大工の国語	大工の国語
		大工の国語	大工の国語	大工の国語
		大工の国語	大工の国語	大工の国語
		大工の国語	大工の国語	大工の国語
		大工の国語	大工の国語	大工の国語
		大工の国語	大工の国語	大工の国語

大工の国語の教材開発と実践
 大工の国語の教材開発と実践

未定稿

平成 29 年度
横浜市スポーツ推進委員大会
運営マニュアル



平成 30 年 1 月 21 日（日）13 時 30 分

南公会堂「みなみん」

主催：横浜市

主管：横浜市スポーツ推進委員連絡協議会

平成29年度 横浜市スポーツ推進委員大会要項

生涯スポーツ振興の推進者として活躍している横浜市スポーツ推進委員が一堂に会し、式典や講演を通じて資質の向上を図り、併せてスポーツ推進委員相互の交流と情報交換を行い、本市の生涯スポーツの振興、発展に寄与することを目的とします。

1 主 催
横浜市

2 主 管
横浜市スポーツ推進委員連絡協議会

3 日 時
平成30年1月21日（日） 13時30分から

4 場 所
南公会堂「みなみん」（横浜市南区浦舟町2丁目33番地、南区総合庁舎内）
〔交通〕市営地下鉄「阪東橋」駅 徒歩 約8分
京浜急行「黄金町」駅 徒歩 約14分

5 内 容

(1) 式 典：横浜市スポーツ推進委員永年勤続表彰

(2) 講 演：講演者 上原 大祐 氏

アイススレッジホッケー選手

（バンクーバーパラリンピック2010銀メダリスト）

所 属 NEC東京オリンピック・パラリンピック推進本部

東京2020推進室 障がい攻略エキスパート

6 スケジュール

(1) 受 付 13時から13時30分

(2) 式 典 13時30分から14時20分

開 式

市歌斉唱

感謝状贈呈 横浜市副市長

横浜市スポーツ推進委員連絡協議会会長

あいさつ 横浜市副市長

横浜市スポーツ推進委員連絡協議会会長

祝 辞 横浜市会議長（予定）

横浜市町内会連合会会長（予定）

閉 式

(3) 休 憩 14時20分から14時30分

(4) 講 演 14時30分から15時30分

平成29年度 横浜市スポーツ推進委員会 業務進行表 ※調整中 2017.11.1版

担当	トランシーバー	氏名	進行内容	所属	10:30	10:45	11:00	12:00	13:00	13:30	14:20	14:30	15:30	16:00	16:30
【総括】		栗田 優	研修部会長				式典準備	昼食	リハーサル	式典	講演	撤収			
	◎	伊藤 廣幸	研修部会副部長		10:30集合		式典準備	昼食	リハーサル	式典 総括	講演	撤収			
		直井 ユカリ	スポーツ振興部長				式典準備	13:00集合		講師対応		講師誘導			
		守屋 喜代司	スポーツ振興課長		10:30集合		式典準備	昼食		進行管理及び来賓・副市長対応					
【進行担当】	○	伊藤 豊	スポーツ振興課担当係長		8:30集合		式典準備	昼食		進行管理及び来賓対応					
	◎	荒木 要	研修部会副部長				式典準備		リハーサル	進行補助、講演委員会					
		蒲谷 美保	戸塚区							表彰・来賓呼名					
		布 紀子	栄区		10:30集合		リハーサル			表彰介添え	研修参加 (講演:上原大祐氏)				
		鈴木 眞理子	泉区							呼名確認					
		佐々木 好美	瀬谷区							記録写真					
	○	門脇 正司	研修部員				舞台準備			進行管理	進行補助				
	○	木村 好裕	スポーツ振興課		8:30集合		舞台準備 音響操作等業者打合せ			進行補助	進行補助				
	○	池村 友紀	スポーツ振興課				控室状況確認			式典参加	進行補助				
	◎	武田 勇蔵	研修部会員												
【来賓接遇担当】	○	飯沼 宏氏	研修部員												
		加勢 由起子	保土ヶ谷区												
		岩崎 美鈴	旭区												
		大竹 佐栄子	磯子区		10:30集合		楽屋1及び2準備	昼食	来賓接遇	来賓接遇	研修参加 (講演)				
		岡 佳代子	金沢区												
	○	江波戸 理恵	研修部員												
		飯塚 まち子	港北区												
	◎	坂本 今朝幸	研修部会員												
	○	深田 達朗	研修部員												
		松本 和由	西区												
【来賓受付担当】		近藤 恵子	中区		10:30集合										
	○	田中 博	研修部員												
		篠本 英男	南区												
		桑原 順子	港南区												
	○	野田 由佳	スポーツ振興課		8:30集合		①来賓受付準備 ②受付担当と協力し、受付担当の準備を手伝う		来賓 受付・案内	来賓対応	研修参加 (講演:上原大祐氏)				
									来賓接遇	来賓接遇	講師接遇				

※副市長 13時10分到着 (予定) ※議長 13時15分到着 (予定)

※講師 14時00分到着 (予定)

平成29年度 横浜市スポーツ推進委員会大会 業務進行表

担当	氏名	所属	10:30	10:45	11:00	12:00	13:00	13:30	14:20	14:30	15:30	16:00	16:30
		進行内容		準備作業	昼食	受付	式典	講演			撤収	解散	
【場内整理】	◎	鈴木 昭三	研修部会員										
	○	佐藤 孝明	研修部員										
		江口 英也	鶴見区										
		尾崎 恵子	神奈川区	10:30集合	場内確認後、受付担当の準備応援	昼食	場内整理	式典参加 階段下の介添え	研修参加 (講演:上原大祐氏)	舞台切換		撤収	解散
		紙谷 秀実	緑区										
		大倉 堅治	青葉区										
		明楽 清	都筑区										
	◎	小松 雅一	総務部会長	10:30集合									
	○	村山 京香	スポーツ振興課	8:30集合									
		斉藤 幸吉	鶴見区										
		鹿野島 えり子	神奈川区										
		高橋 司	西区										
		高島 一義	中区										
	外山 洋	南区											
	石川安恵	港南区											
	飯田 和隆	保土ヶ谷区											
	岩松 由美子	旭区											
	高浦 彰一	磯子区											
	吉岡 徳輝	金沢区											
	長井 貞道	港北区											
	半揚 敬一	緑区											
	岩鼻 千恵子	青葉区											
	座間 正喜	都筑区											
	田中 寿一	戸塚区											
	石山 正彦	栄区											
	石川 敬	泉区											
	広瀬 三千洋	瀬谷区											
○	河原 進一	研修部員	10:30集合										
	常山 正樹	総務部会副部長											
	相馬 一志	総務部会員											
	小松 賢吉	総務部会員											
	谷本 吉年	総務部会員											
				打合せ	① スポ推奨準備 ② 感謝状の氏名確認を行う。 ③ 表彰筒、感謝状及び記念品を入れた袋を被表彰者の各座席へ設置 ④ 座席に置いた袋、感謝状、座席があっているか最終チェックする。 (総務部会対応)	参加者受付	昼食及び式典参加	研修参加 (講演:上原大祐氏)			撤収	解散	

◎=チーフ、○=サブチーフ

会場設営

- 1 式典準備 ☆スポーツ振興課（確認者：伊藤）
 - (1) 被表彰者代表者用感謝状、記念品及び表彰盆の準備。代表者ふりがな貼付確認
 - (2) 授与者（副市長、会長）用ピンマイク（各 1 個）の準備及びチェック
 - (3) 式典関係者の立位置（養生テープを貼る）及び導線の確認
 - (4) 司会者用演台及びマイクの設置確認
 - (5) 式典及び講演会のリハーサル

- 2 舞台準備（ステージ図参照） ☆スポーツ振興課（確認者：伊藤）
 - (1) ステージ看板及び各旗の設置確認
 - (2) 演台及びマイク、花の設置確認
 - (3) 主催者及び来賓用椅子（主催者 9 脚、来賓 7 脚）を配置し、各椅子に名札を貼付け
 - (4) 講演会用の備品確認
 - ・司会者用 演台 1 台、イス 1 脚、マイク 1 本、水 2 本、コップ 2 個
 - ・講師用 演台 1 台、イス 1 脚、ピンマイク 1 本、水、コップ、おしぼり
 - (5) 式典から講演会に移る際、舞台上の椅子を撤去し舞台の切換（ステージ設営図参照）：全員
 - (6) 会場設営状況及び大会風景の写真撮影

- 3 控室準備 ☆武田
 - (1) 各控室の設営及び椅子の確保（別表 1 参照）
 - (2) 接遇用湯茶の準備（保温用ポットは事務室で借用可能）
 - (3) 講師用水及びお手拭の準備（控え室及び舞台裏へ）
 - (4) 予備のプログラムの確保

- 4 来賓受付（3 階）準備 ☆坂本
 - (1) 来賓受付用機の設置（机 1 脚、椅子 2 脚を主催者控室から移動） ※机に膝隠し（模造紙）を設置
 - (2) 控室案内待ち用のイスの設置（椅子 1 脚を主催者控室から移動）
 - (3) 来賓受付の表示（ポールの設置）
 - (4) 来賓名簿及びプログラムの設置
 - (5) 『来賓受付』表示の掲出

- 5 スポーツ推進委員受付準備 ☆小松（西区）
 - (1) スポーツ推進委員受付用機及び椅子の設置（机は 3 区で 1 脚を使用し、ホール入口から見て右側手を鶴見区とし、以後行政区順に配置） ※机に膝隠し（模造紙）を設置
 - (2) 区名の表示（ポールの設置）
 - (3) 受付名簿（一般用と被表彰者用の 2 種）の準備
 - (4) 各種配布物の確認及び配置

来賓対応

- 1 来賓案内（3 階） ☆坂本
 - (1) 来賓受付名簿にチェックし、プログラムを配布
 - (2) 登壇する方は、来賓控室（楽屋 1 及び 2）へ誘導し引継ぎ（必ず役職と名前を確認し合う）
 - (3) 式典開始（13:30）間際に来場した来賓は、直接舞台へ誘導
 - (4) 区連長を、客席の来賓席へ案内＜研修部会員＞
（青葉区の松澤会長のみ来賓控室（楽屋 1 及び 2）誘導し引継ぎ）
 - (5) 来賓集約状況を、進行担当（スポーツ振興課木村）へ連絡

2 来賓接遇 ☆武田

- (1) 各控室において式典開始前の来賓の湯茶接遇（茶はペットボトルと紙コップを準備）
- (2) 式典終了後の来賓の湯茶接遇
- (3) スポーツ推進委員顧問、各区会長、運営役員への昼食の配布
- (4) 必要に応じてプログラムを配布
- (5) 接遇が終了したら、会場から借りた物品を事務室へ返却する

4 来賓誘導 ☆坂本、深田、田中、スポーツ振興部

- (1) 式典の開始に合わせて各控室から来賓等を舞台（2階）へ誘導

控室	誘導開始	誘導方法	誘導担当
楽屋3 (3階)：講師及び NEG 佐藤様	14:20	徒歩	直井部長
楽屋1及び2 (3階)：来賓	13:20	徒歩	守屋課長、伊藤係長
会議室1～3 (4階)： スポーツ推進委員	13:20	エレベーター	坂本、深田、田中

- (2) 式典終了後来賓を控室に誘導(担当は前記と同じ)

5 講師対応 ☆スポーツ振興部（直井部長）

- (1) 講師控室へ誘導（14:00 到着予定）
- (2) 講演会の開始に合わせて講師を舞台へ誘導（14:20 誘導開始予定）
- (3) 講演会終了後控室へ誘導（直井部長）

参加者受付 ☆小松（西区）

- (1) 感謝状の氏名確認を行い、折れないように、記念品及び表彰筒とともに個別の紙袋に入れ、事前に被表彰者の指定席に配置
被表彰代表者の分は、表彰筒のみ入れて、紙袋を指定席に設置
- (2) 受付名簿にチェックし、プログラム等の資料を配布
- (3) 一般参加者は各区指定のブロックへ、被表彰者は指定の席へ、着席するよう案内
- (4) 被表彰代表者の出欠状況を確認し、進行担当（スポーツ振興課 木村）へ連絡
- (5) 来賓は来賓受付で対応するので、来場した場合はその旨を案内
- (6) 受付終了後、名簿を確認し、スポーツ振興課木村に渡す
- (7) 被表彰代表者の出席が確認でき次第、舞台袖に行き、準備してあったサブ代表者の感謝状をスポーツ振興課木村から受け取る。
- (8) 被表彰者に欠席者がいた際は、休憩の間に記念品セットを確認し、各区のとりまとめ担当に渡す

場内整理 ☆鈴木

- (1) ホール前方の移動席（6列、黒い椅子）に座席番号札（A-1～F-24）を養生テープで貼り付ける。
- (2) 各区の席に区名を貼り付ける。
- (3) 会場内の参加者を整理
- (4) 一般参加者を指定ブロックへ、被表彰者を指定席へ案内
- (5) 式典の進行に合わせて、被表彰代表者を舞台上へ誘導
- (6) 階段の上り下りでの事故に備え、必要に応じて、階段下で場内整理担当が被表彰者を介添え
- (7) 講演の質疑応答の際に、質問者にマイクを渡す（3名）
※講演の後半（15:00）に、舞台袖の本部（舞台に向かって左側）に集合しマイクを受け取る。

式典説明（被表彰者代表）

☆スポーツ振興課

- (1) 被表彰代表者に式典の段取りを説明
- (2) 被表彰代表者に舞台までの導線、受け取りの段取りを説明

その他

- (1) 会場に到着したら、控室である4階の会議室3（畳の部屋）に荷物を置いた上で、3階ホワイエ（エレベーターホールから公会堂に入った所）に集合してください。
出欠簿が用意されていますので、御自分の欄にマーカーでチェックをしていただいた上で、用意された名札を着用ください。
- (2) 昼食は、準備状況を見ながら担当毎に会議室1～3（4階）でとってください。
- (3) 担当パート毎に業務が終了したら、式典及び講演会に参加してください。
- (4) ごみは、分別（①ビン・缶・ペットボトル、②プラスチック、③燃やすゴミ）の上、担当毎にまとめて4階に集めてください。
- (5) 壁への貼紙は出来ません。必要な場合は、立札（ホワイトボード等）を使用して掲示してください。
- (6) セロテープ及びガムテープの使用は禁止です。テープの使用が必要な場合は、養生テープを使用してください。
- (7) 全日程が終了したら片づけを行い、荷物を持った上で3階ホワイエに集合してください。
最後にあいさつがあります。

《別表1》

部 屋	利 用 者（予定）	最大人数
楽屋1及び2 （3階）	副市長、市議員4（議長1、委員長1、副委員長2） 市民局長、鶴見区長（区長会議長） 市連会長（青葉区連長）、青指会長	9人
楽屋3（3階）	講師（楽屋1）	1人
会議室1～3 （4階）	スポーツ推進委員顧問・スポーツ推進委員各区会長 スポーツ推進委員	64人

※注意：登壇者→市連会長（青葉区連長）、青指会長は来賓（舞台向かって右側）、
顧問は主管（舞台向かって左側）
最前列席→その他の区連会会長は客席の来賓席（最前列）へ案内

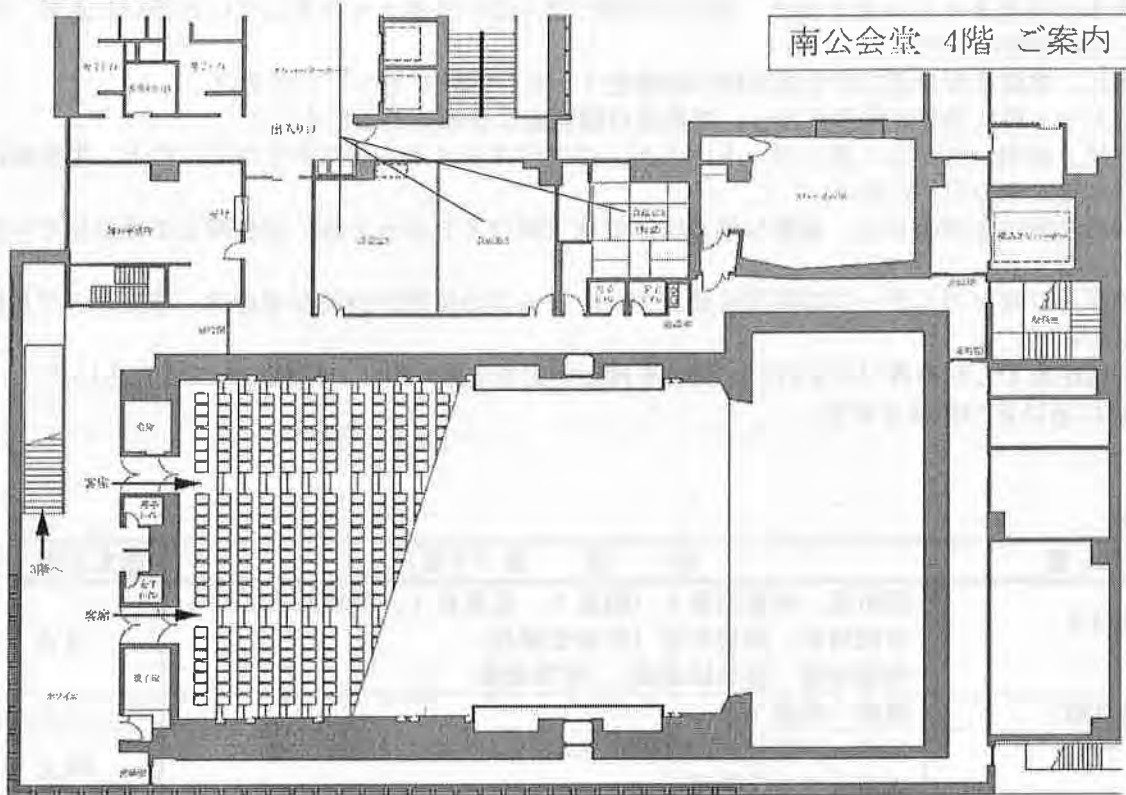
《別表2》

表彰の種類	代表者			サブ代表者		
	氏 名	区	座席	氏 名	区	座席
10年表彰		区	—		区	—
15年表彰		区	—		区	—
20年表彰		区	—		区	—
25年表彰		区	—		区	—

南公会堂全体図

4階

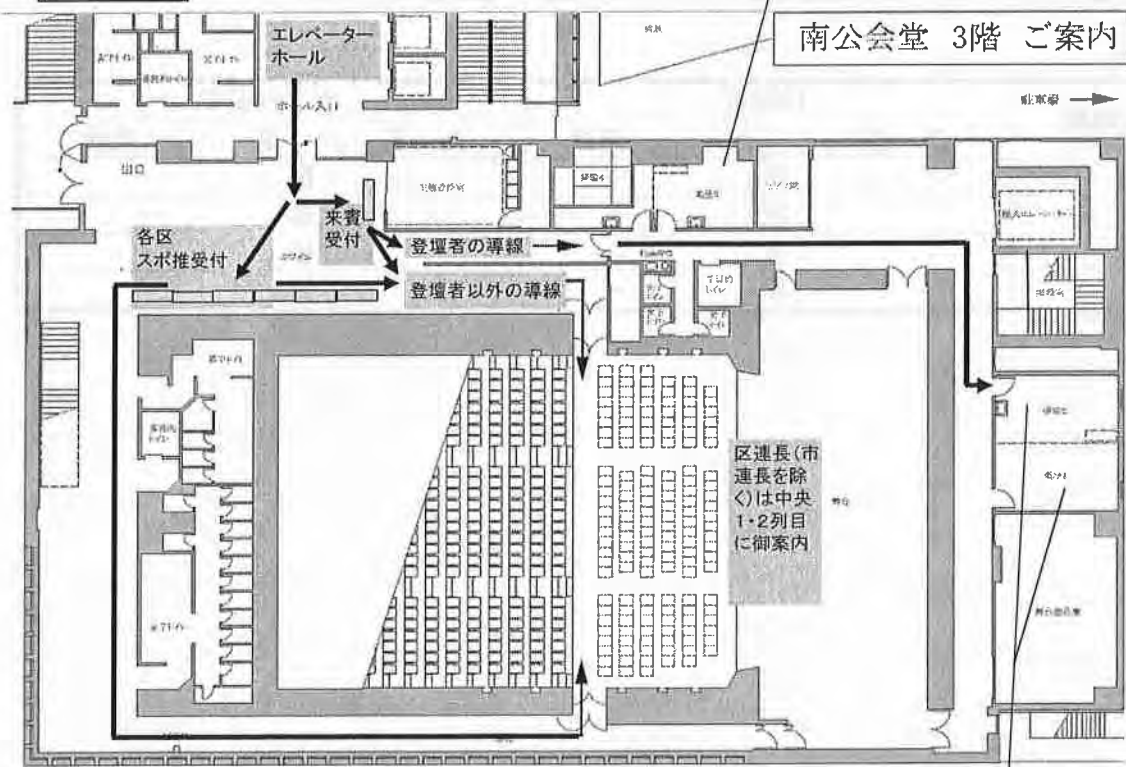
会議室1～3:運営協力員控室(スポ推(顧問・各区会長含む)、スポーツ振興課職員)



3階

楽屋3:講師控室

南公会堂 3階 ご案内

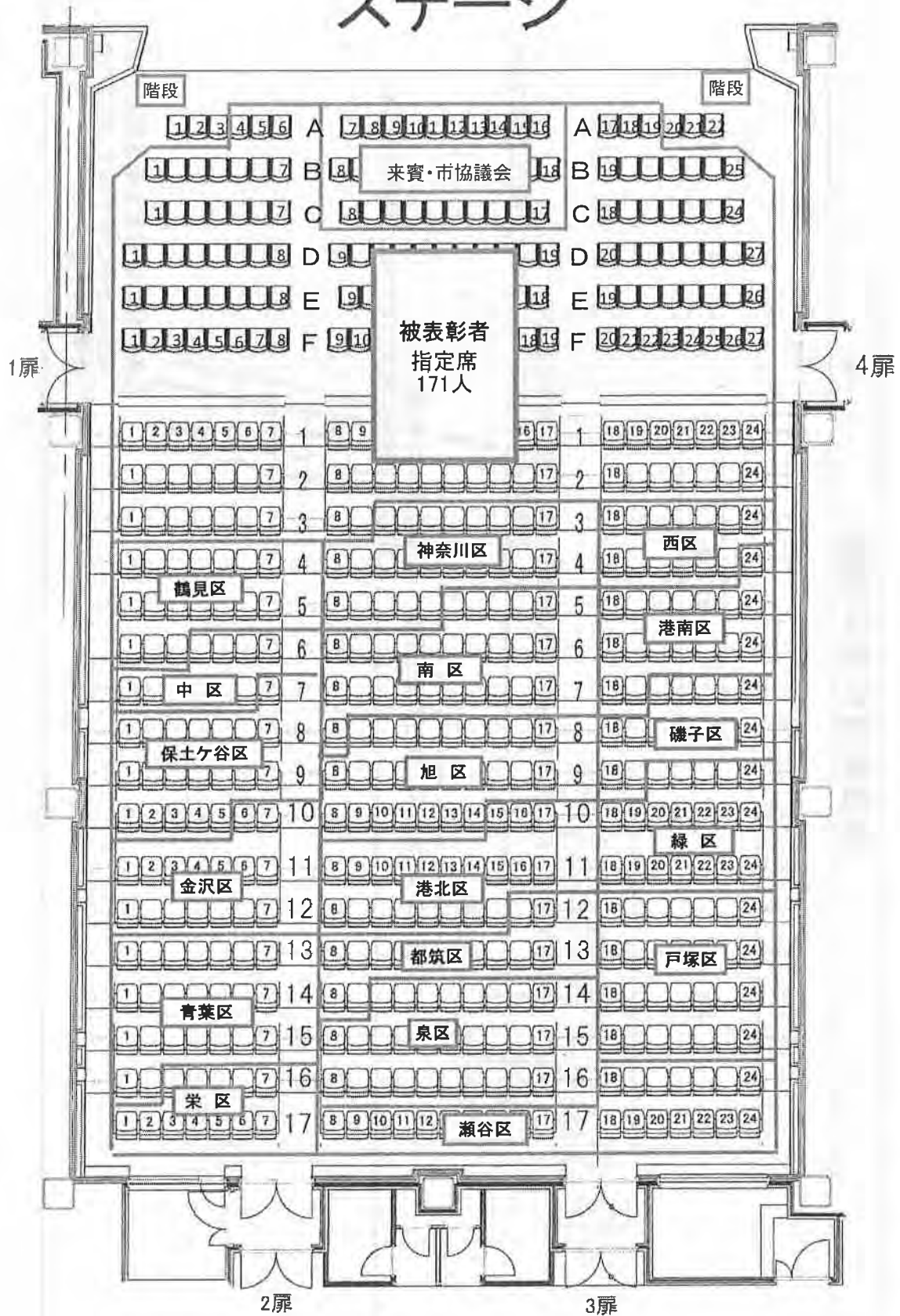


楽屋1及び2:副市長、来賓控室

(副市長、市会副議長、常任委員会正副委員長、市連会長(青葉区連長)、青指会長)

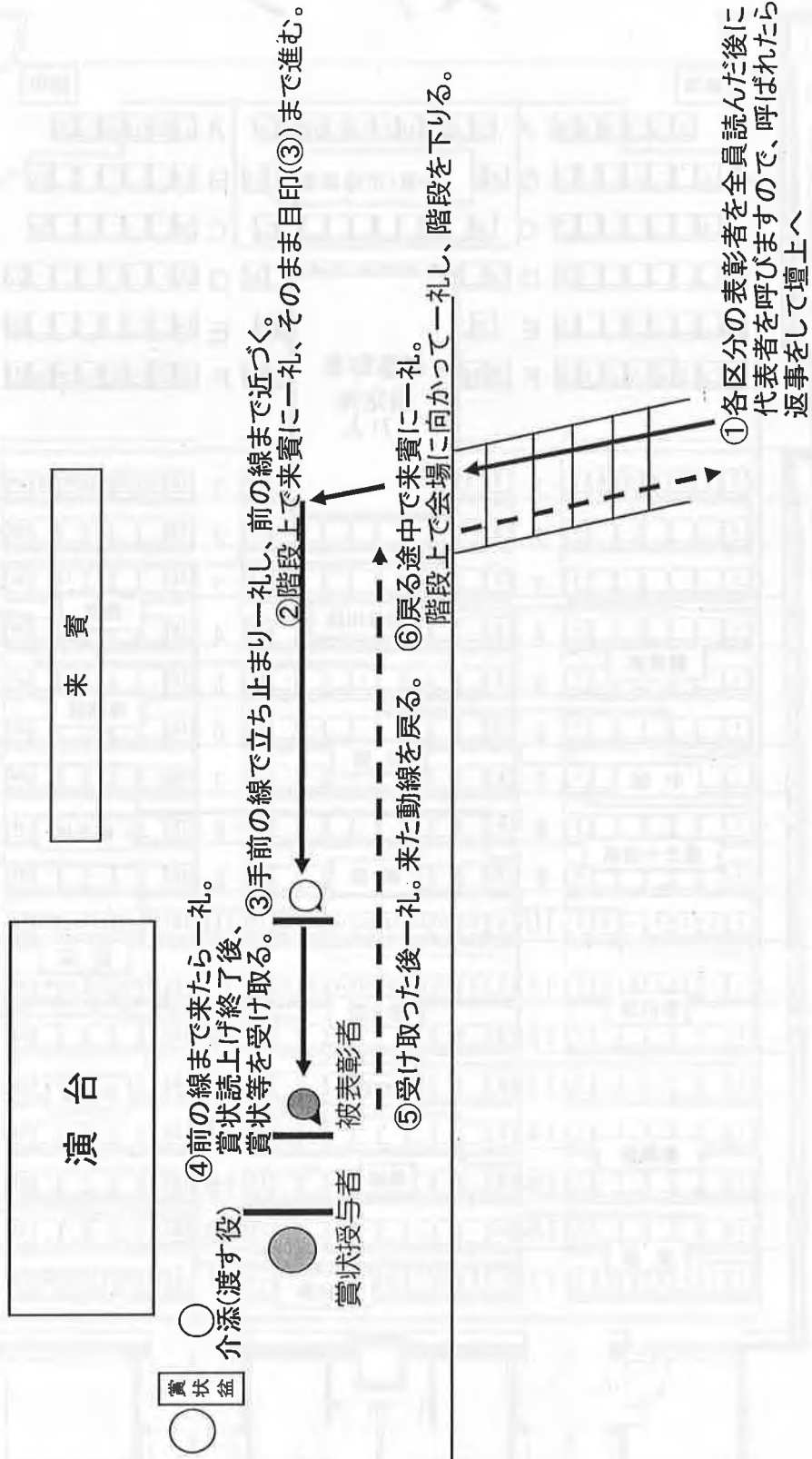
平成29年度横浜市スポーツ推進委員大会 座席表

ステージ



固定席408席
 移動席151席
 合計559席

被表彰者代表の動線



平成29年度 横浜市スポーツ推進委員大会 参加者名簿

区

<区分>一般参加者、被表彰者、区会長、研修部員、運営協力員

	地区・連合名	自治会・町内会名	氏名	区分
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				

※被表彰者や運営協力員等を含む参加者全員を記載してください。
 ※被表彰者の方が参加できない場合は、代理の方の出席をお願いいたします。
 ■回答期限:12月8日(金)までに報告願います。

平成30年度 スポーツ推進委員 大会・研修会・理事会予定

	関東 スポーツ推進委員 研究大会	全国 スポーツ推進委員 研究協議会	神奈川県 スポーツ推進委員 連合会研修会	五大都市 スポーツ推進委員 研究集会	横浜市 スポーツ推進委員 大会	神奈川県 スポーツ推進委員 大会
開催日	H30年6月8日(金)～ 9日(土)	H30年11月15日(木)～ 16日(金)	H30年11月23日(金・祝) (予定)	H30年12月15日(土) (予定)	H31年1月20日(日)	H31年2月3日(日) (予定)
開催都市	東京都墨田区(予定)	鹿児島県鹿児島市	横三ブロック	京都市	横浜市	西湘ブロック
予定会場	墨田区総合体育館	鹿児島アリーナ	未定 ※三浦市の予定	京都市	関内ホール(予定)	秦野市文化会館(予定)

	神奈川県 第1回理事会	神奈川県 第2回理事会	神奈川県 第3回理事会	神奈川県 第4回理事会
開催日	5月	7月	12月	3月
開催都市	横浜市(県事務局)	湘南ブロック(藤沢市)	県央ブロック(伊勢原市)	横浜ブロック(中区(予定))
予定会場	横浜開港記念会館(予定)	未定	未定	未定

※ 県連合会会費、県大会参加費(1人200円)、関東大会参加費(1人2,500円)、全国大会参加費(1人3,000円)、全国普通会費(1人500円)については、今のところ昨年度と変更予定はありません。

横浜ランドマークタワー スカイライミング

2018 ランドマークタワーを
のぼれるイベントはこの日だけ!

1.21 (日)

10:00 - 17:00

雨天決行! 最終受付15:00

69階・1458段を
のぼりきれ!

「階段のぼり」はカロリー消費の高い運動です



コラボイベント

三菱みなとみらい技術館

スタンプラリー

完了でもれなく参加賞!
さらに大抽選会に
チャレンジ!!

主催 横浜ランドマークタワー・スカイライミング実行委員会
神奈川県、神奈川県教育委員会、3033 生涯スポーツ推進会議、
公益財団法人神奈川県体育協会、株式会社神奈川新聞社、
株式会社テレビ神奈川、学校法人岩崎学園

特別協賛 三菱みなとみらい技術館

協賛 GARMIN あいおいニッセイ同和損保

物品協賛 KIRIN

協力 三菱地所プロバティマネジメント株式会社 三菱みなとみらい技術館

運営協力 あいおいニッセイ同和損保 岩崎学園

受付は、インターネットまたはお電話で。 <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f533740/>

2017.11.1 受付スタート! 03-6772-4709 株式会社ティー・ゲート
受付10:00~17:00 (土日・祝日・年末年始を除く)



参加料

インターネットによるお申込み (クレジットカード決済)
大人 1,000円 / 18歳以下 500円

お電話または当日のお申込み (当日現地にて徴収)
大人 1,200円 / 18歳以下 600円

参加料には、スカイガーデン入場料 (通常・大人1,000円)、三菱みなとみらい技術館入館料 (通常・大人500円)、スタンプラリー参加者への参加賞代が含まれます。

神奈川県 お問合せ 神奈川県スポーツ局スポーツ課 TEL 045-285-0796 FAX 045-663-0113 (受付時間9:00~17:00 土日・祝日・年末年始を除く)

横浜ランドマークタワー スカイライミング 2018

(コラボイベント) 三菱みなとみらい技術館 スタンプラリー

募集人数 **2,200人**

事前受付 **2,000人**

当日受付 **200人**

未就学児の参加不可、小学生は保護者同伴で可。
定員に達し次第締め切ります。



SKY GARDEN (横浜ランドマークタワー69階展望フロア)
観覧料 大人(18歳~64歳以下)1,000円/
65歳以上・高校生600円/小・中学生500円
観覧時間 10:00~21:00(最終入場20:30)/
土・日:10:00~22:00(最終入場21:00)

普段は利用できないランドマークタワー非常階段での階段のぼり！
スカイガーデンから眺める大パノラマがあなたを待っています！

カロリー消費量の高い階段のぼりで健康アップ！階段に貼られた「3033階段ステッカー」の
楽しい標語を読みながら、69階をのぼり切りましょう。あいおいニッセイ同和損害保険(株)
の社員や学校法人岩崎学園の学生があなたの頑張りをサポート！大塚製薬(株)提供の無料
給水所もあります。



階段をのぼったあとは、三菱みなとみらい技術館で
最先端の科学技術を学びましょう！

三菱みなとみらい技術館は、ランドマークタワーに隣接する科学技術の体験型
ミュージアム。航空宇宙、海洋、環境、エネルギーなどにまつわる展示物やシ
ミュレータは、大人から子どもまで大人気！最新のテクノロジーを体感しなが
ら楽しく学べます。楽しいイベントも、毎月たくさんご用意しています。

三菱みなとみらい技術館
観覧料 大人500円/中・高校生300円/小学生200円
観覧時間 10:00~17:00(最終入場16:30)
休館日 毎週火曜日(祭日の場合休館日) 年末年始及び特定休館日(平成30年2月13日~2月24日)



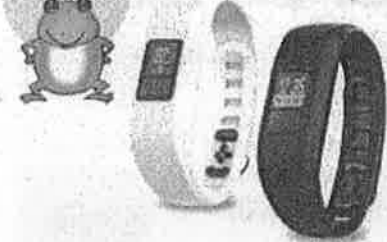
スタンプラリー完了で、もれなく参加賞！
さらに大抽選会にチャレンジ！
階段のぼってロケット眺めてあなたの運気も急上昇！

施設を巡るスタンプラリーを完了した方には、もれなくエバラ食品工業
(株)、ニチバン(株)、テルモ(株)、キリンビバレッジ(株)、森永乳業(株)か
らの協賛物品、技術館ノベルティグッズなどの参加賞！さらには、ラリー
完了者による大抽選会！！あなたの運動習慣をサポートする活動量計など
、健康に役立つアイテムを揃えました。さあ、イベントの最後に運試し！

※参加賞は、参加者によって異なる場合があります。

親子で参加すると、
さらに特典をご用意！

特典3 スタンプラリー完了で、もれなく参加賞！
さらに、抽選で当たる！



ガーミンジャパン株式会社
活動量計[vivofit3] 2名

アシックスジャパン株式会社 バックパック 1名
アシックスジャパン株式会社 フェイスタオル 5名
オムロンヘルスケア株式会社 レッグマッサージャ 1名
オムロンヘルスケア株式会社 電子体温計 3名

ACCESS MAP



3033 (サンマルサンサン) 運動とは・・・
1日30分、週3回、3ヶ月間
継続して運動やスポーツを行い、
運動やスポーツをくらしの一部として習慣化する
神奈川県の取組みです。

具体例



● お出かけの際
(お出かけの際は、一駅手前で下車してウォーキング)



● リュックで買い物 (早歩きで)

浜身連発第46号
平成29年10月27日

横浜市スポーツ推進委員連絡協議会

公益社団法人横浜市身体障害者団体連合会
理事長 平 井



第33回横浜市身体障害者運動会中止について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、障害者福祉増進のため、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度の第33回横浜市身体障害者運動会開催にあたりましては、貴課より、
スポーツ推進委員20名をご派遣していただく予定になっておりましたが、台風21号の
接近に伴い雨天となり、やむなく中止といたしました。委員の皆様のご予定を煩わせるこ
ととなり、深くお詫び申し上げます。

今後とも一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、略儀ながら書中をもつ
てお礼に代えさせていただきます。



国土交通省 国土審議会 第 2 回 第 2 回 第 2 回
第 2 回 第 2 回 第 2 回

国土交通省 国土審議会 第 2 回 第 2 回 第 2 回

国土交通省 国土審議会 第 2 回 第 2 回 第 2 回
国土交通省 国土審議会 第 2 回 第 2 回 第 2 回
国土交通省 国土審議会 第 2 回 第 2 回 第 2 回
国土交通省 国土審議会 第 2 回 第 2 回 第 2 回
国土交通省 国土審議会 第 2 回 第 2 回 第 2 回
国土交通省 国土審議会 第 2 回 第 2 回 第 2 回
国土交通省 国土審議会 第 2 回 第 2 回 第 2 回
国土交通省 国土審議会 第 2 回 第 2 回 第 2 回
国土交通省 国土審議会 第 2 回 第 2 回 第 2 回
国土交通省 国土審議会 第 2 回 第 2 回 第 2 回

第 48 回瀬谷区マラソン大会

協力監察員兼走路員委嘱のお願い

平成 29 年 11 月 吉日
瀬谷区陸上競技協会
会長 寺田 富美雄

益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
日頃から当協会にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記大会を瀬谷区役所・瀬谷区体育協会後援のもと、下記の日程で行いますので、
新春早々何かとお忙しい処誠に恐縮ではございますが、貴会に当日の監察員兼走路員のご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

尚、今回も市立瀬谷中学校で行いますので、お間違えのないようお願い致します。

記

1、月 日	平成 30 年 1 月 21 日 (日)
2、集合・打合せ	指定現地
3、開 会 式	午前 8 時 00 分
4、競 技 開 始	午前 9 時 00 分
5 競 技 終 了	午前 11 時 50 分
6、会 場	横浜市立瀬谷中学校グラウンド(瀬谷駅北口徒歩 3 分)
7、コ ー ス	海軍道路(環状 4 号線)往復コース(全種目)
8、担 当 審 判	監察員兼走路整理員
9、解 散 場 所	最終走者通過後現地
10、打合せ責任者	監察主任 佐藤健介・佐々木均
11、人 員	15 名

尚、当日ご協力頂きました皆様にパン・お茶・記念品・帽子・プログラム等を用意しております。
事前又は当日開会式終了後、代表者の方に一括して大会本部受付でお渡し致しますのでよろしく
お願い致します。

< 連絡先 >

理事長 初山 喜代次
TEL 045-302-2558
FAX 045-302-2558
審判長 早川 俊行
TEL 080-6734-0119

平成29年11月07日

瀬谷区スポーツ推進委員連絡協議会 殿

瀬谷区さわやかスポーツ普及委員会
会長 相澤 孝志

平成29年度 第2回 さわやかスポーツ種目講習会の開催について (通知)

晩秋の候 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、平素からさわやかスポーツ普及に多大なるご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今後のさわやかスポーツの更なる振興の為、また2020年開催の東京パラリンピックを視野にいれ障がいテーマに種目講習会を開催いたします。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- | | | |
|---|---------|---|
| 1 | 日時 | 平成30年2月4日(日) 午前10時00分から
※10時までにお集まりください。 |
| 2 | 場所 | 瀬谷スポーツセンター 第1・第2体育室 |
| 3 | 目的 | さわやかスポーツの普及、障がいへの理解を深める |
| 4 | 対象 | スポーツ推進委員連絡協議会、青少年指導員、保健活動推進委員、シニアクラブ、子ども会 |
| 5 | 人数 | 各団体 10名前後 ※但し、さわやかスポーツ普及委員は除く
(当日は、指導員となるため) |
| 6 | 内容 | 午前：パラリンピアンによる講演(種目未定)
午後：車いす・障がいの疑似体験
さわやかスポーツ体験(シャッフルボード、ペタンク、カローリング、バウンドテニスを予定) |
| 7 | スケジュール | 別紙参照 |
| 8 | 持ち物 | 室内履き、運動のできる服装 |
| 9 | 参加者報告期限 | 1月9日(火)までにご連絡をお願いいたします。 |

瀬谷区さわやかスポーツ普及委員会
事務局担当 吉川 明里 (よしかわ あかり)
電話 080-4654-5187
PC:ak01-yoshikawa@yspc.or.jp
携帯: se-shien@softbank.ne.jp

<別紙>

タイムスケジュール (予定)

※進行状況によって、一部内容が変更する可能性があります。

時 間	実 施 内 容
10:00 12:00	開会式 <ul style="list-style-type: none">・会長挨拶・本日の流れ・講演開始
12:15頃～ 13:00～ 14:00～	昼食 ※昼食につきましては各自でご準備をお願いします。 車いす・障がいの疑似体験 さわやかスポーツ体験 ※1種目 10分程体験をして頂きます。
14:45	整理体操 閉会式 <ul style="list-style-type: none">・総評

瀬谷スポーツセンター開館30周年記念事業

講師 別府健至氏
元日本体育大学
駅伝部監督



アシックス・ランニングクリニック



【日時】 11月11日(土)

一部 9:00~11:30 中級者向け

二部 14:00~16:30 初級者向け

【参加料】 500円(お支払は当日受付にて)

【人数】 各50名(先着順)

【場所】 横浜市瀬谷スポーツセンター
第一体育室

【お申込方法】 10/21(土)~11/9(木)
直接来館か電話にて

※来館による受付は9:00~20:00 電話による受付は
10/21のみ14:00~、翌日以降は9:00~20:00となります。

アシックスシューズの試し履きができる!!

ランニングクリニックに参加いただく際に、
あなたの足にぴったりのランニングシュー
ズを履いていただくことができます。
ご希望の方は、申込時にサイズを明記し
てください。

※試し履きご希望の方は11/2(木)まで
にお申込ください。



【同時開催】足型計測会

【時間】 9:00~13:00(ロビー)

予約なしでどなたでもご参加い
ただけます!

足の長さ、足の幅、足圧を測って
自分に合ったシューズを見つけ
てみませんか?



プログラム内容

【中級者向け】

中高生・市民ランナーにおすすめ!
怪我をしないような正しいフォームを身に付けます。
スピードトレーニングも交え、部活や大会に活かす事
を目標にします。
(内容)W-up、ストレッチ、動きづくり、実走、クールダ
ウン、質問コーナーなど

【初級者向け】

これから健康づくりを始めてみたい方、ウォーキ
ング愛好家の方や、ジョギングを始めてみたい
方へおすすめ!
体操等を交えたりすることで、運動自体を少なく
し、強度の強くないものを行います。

横浜市瀬谷スポーツセンター

045(302)3301 横浜市瀬谷区南台2-4-65

http://www.yspc.or.jp/seya_sc_yasa/

休館日 第2月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始
開館時間 9:00~21:00(毎週日曜日は7:30開館)
指定管理者 公益財団法人横浜市体育協会

交通案内

相鉄線「三ツ境駅」下車・相
鉄バス3番乗り場「南瀬谷小
学校」行にて「瀬谷スポーツ
センター」下車徒歩1分



平成 29 年度 瀬谷ふるさとウォーク大会実行委員会 (第 7 回) 資料

2017.11.6 飯沼
(欠:中邨、根方、恵方谷)

1. 報告、審議事項

(1) 実行委員の交代について

南瀬谷の中村さんが恵方谷さんに交代

(2) 申込状況について

- ・低調だった昨年に比較しても、更に少ない状況

今のまま推移すると、200~250 人位か。
当日申込み考慮しても 250~300 人位。
各地区でも勧誘をお願いします

(3) 試歩結果の確認

各地区の試歩結果を資料に反映

(4) 全体説明会資料の確認について

- ・運営マニュアル、コースガイドの内容確認
- ・説明会当日の役割分担

指摘事項を資料に反映

(5) 予算・手配関係について

- ・参加者目印 (バンダナ) について
- ・弁当の数、内容について
- ・福引景品について
- ・その他手配品 (カップ、軍手、絆創膏、拡声器、テーブル、テント等)

バンダナはダイソーでの購入を検討

シウマイ弁当とする(数は再確認)、お茶は別途検討

大和スポーツデポからの物品提供の可能性あり
区からも花の種やティッシュ等提供可とのこと

(6) その他

- ・反省会について

軍手、絆創膏は配布をやめる
拡声器は阿久和南部より借用(要確認)
区からの借用物は別途まとめて依頼する

加田さんに場所選定を依頼(当日 18 時~、15 名前後、4,000 円程度で)

2. 今後の予定

- ・ 11 月 15 日(水) 19:00~ 公会堂会議室 1/2 <全体説明会は 19:30~>
- ・ 11 月 25 日(土) 9:00~ (14:00 頃?) リハーサル室 2 <前日準備>

<添付資料>

- ・ 申込推移、運営マニュアル案、コースガイド案、予算

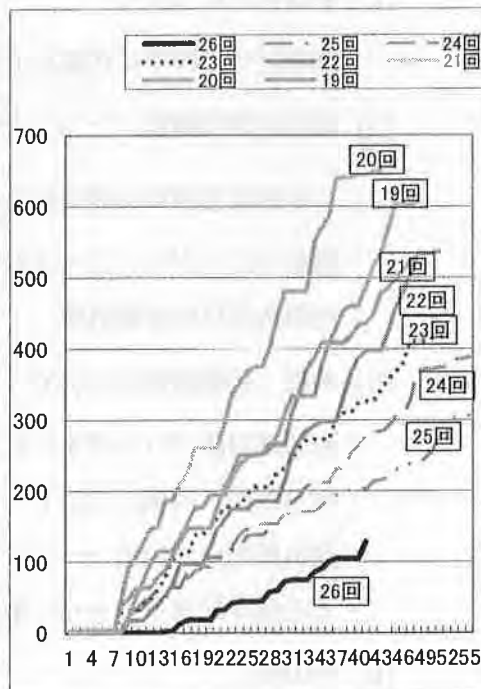
以上

瀬谷ふ瀬谷ふるさとウォーク大会 申込状況の推移

2017.11.6 現在

申込数					累計申込者数										
26回	25回	24回	23回	22回	21回	20回	19回	26回	25回	24回	23回	22回	21回	20回	19回
9/27			2		2			0	0	0	2	0	2	0	0
9/28		2	1					0	2	1	2	0	2	0	2
9/29		1			1	1		0	3	1	2	0	3	1	2
9/30					1	2		0	3	1	2	0	4	3	2
10/1			1					0	3	2	2	0	4	3	2
10/2				1				0	3	2	3	0	4	3	2
10/3		5			1			0	8	2	3	0	5	3	2
10/4		3		26		33	42	0	11	2	29	0	38	45	2
10/5		14	12		18	11	46	19	0	25	14	29	18	49	21
10/6		9	15			13	16	28	0	34	29	29	18	62	107
10/7		11	6		13	2	19	24	0	45	35	42	18	64	126
10/8		4	14		4	12	20	25	0	49	49	46	30	64	146
10/9			15		14	10	15	4	17	0	49	64	60	79	150
10/10	2				19	13	9	37	2	49	64	79	53	88	187
10/11	1	18			25	15	22		3	67	64	104	68	110	187
10/12	10	7			7	29	19	23	20	13	74	64	111	97	129
10/13	5	4	23				19	15	21	18	78	87	111	97	148
10/14		9	7		28			37	21	18	87	94	139	97	148
10/15		6	5							18	93	99	139	97	148
10/16	0		8		9	23		17		18	93	107	148	120	148
10/17	14	7			15	27	29			32	100	107	163	147	177
10/18	1	12			14	13	30	33		33	112	107	177	160	207
10/19	9	5	15		2	15	18	42	24	42	117	122	179	175	225
10/20	2	6	17				26	16	20	44	123	139	179	175	251
10/21		14	8		17			15	9	44	137	147	196	175	251
10/22		2	2		10	10		7	5	44	139	149	206	185	251
10/23	1		6				1			45	139	155	206	185	252
10/24	13	7		1/4			14	26	7	58	146	155	206	185	266
10/25	2	6		1/5	21			44	19	60	152	155	227	185	266
10/26	13	14	15	1/6	6	30		36	32	73	166	170	233	215	266
10/27	2	6	14	1/7	14	39	45		24	75	172	184	247	254	311
10/28			9	1/8	14	19	27			75	172	193	261	273	338
10/29			14	1/9	12	12	35			75	172	207	273	285	373
10/30	11		6	1/10		7	14	69		86	172	213	273	292	387
10/31	5	9		1/11		6	22	21	43	91	181	213	273	298	409
11/1	10	12		1/12				15	32	101	193	213	273	298	409
11/2	4	1	19	1/13	27			53	21	105	194	232	300	298	409
11/3				1/14	10	35		2	25	105	194	232	310	333	409
11/4		9	23	1/15		34	10		6	105	203	255	310	367	419
11/5			11	1/16	14	21	15	4		105	203	266	324	388	434
11/6	24		12	1/17	2	10	2	26		129	203	278	326	398	436
11/7		11	6	1/18			12	4	29		214	284	326	398	448
11/8		2		1/19	16		31	1	18		216	284	342	398	479
11/9		3	6	1/20	16	26	6		34		219	290	358	424	485
11/10		9	14	1/21	10	34	13		34		228	304	368	458	498
11/11		10	5	1/22	11	20	13				238	309	379	478	511
11/12			18	1/23	32	26	13				238	327	411	504	524
11/13			41	1/24		31	6		5		238	368	411	535	530
11/14		8	4	1/25							246	372	411	535	
11/15		9		1/26	4						255	372	415	535	
11/16		25	2	1/27	2	2					280	374	417	537	
11/17		4		1/28	2						284	374	419		
11/18		20	11	1/29							304	385			
11/19			1	1/30							304	386			
11/20		2	3	1/31							306	389			

	A	B	C	不明	計
申込者数	89	28	11	1	129
(内子供)	7	1	0	0	8
協賛	0	0	0		0
区役所					0
当日					0
(内子供)					0
合計	89	28	11	1	129



129 306 389 419 537 530 650 607 ニツ橋 ニツ橋 ニツ橋 ニツ橋 ニツ橋 瀬谷中 瀬谷中 ミツ境小
 サーフ サーフ サーフ サーフ サーフ サーフ 島内 水族館
 ←スタート場所
 ←ゴール場所
 ←コース数

●収入の部

【参加費：大人600円、子供300円】

1. 補助金・協賛金

いきいき補助金	350,000	
瀬谷ロータリーC	20,000	未
でっかいそら	30,000	
川口工業	0	
柳沼建設	0	
市川運輸	0	
小島造園	0	
合計	400,000	

2. 参加費-手数料

	大人(人)	子供(人)	合計※3
(a) 600人	540	60	293,400
(b) 350人	315	35	171,150
(c) 300人	270	30	146,700
(d) 250人	225	25	122,250

※3 振込手数料は、大人1人当たり90円と仮定し除外済み

●支出の部

●収支シミュレーション

1. 補助金対象分

ダイソーの方が安い

謝礼	15,000
警備員交通費	120,000
駐車場代	2,500
広報用物品(400枚×155円)	62,000
警備用備品・事務用品	16,797
バンダナ(220枚×120円)	26,400
ガソリン代	3,000
印刷代	50,616
通信費	17,650
広告料	0
手数料	1,000
(参加者の振替手数料は含まず)	
レンタカー使用料	55,000
会議室使用料	6,000
道路・公園使用料	4,700
保険料	15,000
予備費	10,000
補助金対象分合計	405,663
対象の70%	283,964
補助金返却分	66,036

・ケース(a): 600人

収入合計	693,400
支出合計	500,963
内、補助金対象分	405,663
補助金返却分	66,036
差引収支	126,401

軍手、絆創膏は配布しない

・ケース(a): 350人

収入合計	571,150
支出合計	500,963
内、補助金対象分	405,663
補助金返却分	66,036
差引収支	4,151

・ケース(a): 300人

収入合計	546,700
支出合計	500,963
内、補助金対象分	405,663
補助金返却分	66,036
差引収支	-20,299

・ケース(a): 250人

2. 補助金対象外

在庫72本あり、数量見直し

参加者配布用水(300@40円)	12,000
参加者配布用菓子	18,000
お菓子の配布は止める	
スタッフ弁当(70個)	58,100
前日準備弁当(12個)	7,200
補助金対象外合計	95,300

収入合計	522,250
支出合計	500,963
内、補助金対象分	405,663
補助金返却分	66,036
差引収支	-44,749

【試算の条件】

- ・参加費：大人600円、子供300円
- ・参加者比率は、大人9割、子供1割

※広報用物品は400名分を10/25に手配済み(名入れ用の納期確保のため)

※バンダナは、最終参加者360名(A:180、B:100、C:80)と想定

在庫(水色98枚、ピンク84枚)を差し引いて、水色100枚、ピンク20枚、黄緑100枚を新規手配

★上記に福引用景品は含まず。

- ・スポーツデポより景品提供いただける可能性あり(11/10結論)
- ・区より、ポケットティッシュ300個、花の種500袋提供可
- ・阿久和北部(女性地域安全)より、飴300個提供可

表 1-1-10

【1900年予、1900年大 費収表】

経費予-費収表

大正10年	(人)予	(人)大	
1900.01	00	00	人000
1900.02	00	00	人00
1900.03	00	00	人00
1900.04	00	00	人00

前年度、後年度、1900年、1900年、1900年、1900年、1900年、1900年

経費大収表

経費大収表

1900.01	1900.01	1900.01
1900.02	1900.02	1900.02
1900.03	1900.03	1900.03
1900.04	1900.04	1900.04
1900.05	1900.05	1900.05
1900.06	1900.06	1900.06
1900.07	1900.07	1900.07
1900.08	1900.08	1900.08
1900.09	1900.09	1900.09
1900.10	1900.10	1900.10
1900.11	1900.11	1900.11
1900.12	1900.12	1900.12

経費大収表

経費大収表

1900.01	1900.01	1900.01
1900.02	1900.02	1900.02
1900.03	1900.03	1900.03
1900.04	1900.04	1900.04
1900.05	1900.05	1900.05

経費大収表

1900.01	1900.01	1900.01
1900.02	1900.02	1900.02
1900.03	1900.03	1900.03
1900.04	1900.04	1900.04
1900.05	1900.05	1900.05

経費大収表

1900.01	1900.01	1900.01
1900.02	1900.02	1900.02
1900.03	1900.03	1900.03
1900.04	1900.04	1900.04
1900.05	1900.05	1900.05

経費大収表

1900.01	1900.01	1900.01
1900.02	1900.02	1900.02
1900.03	1900.03	1900.03
1900.04	1900.04	1900.04
1900.05	1900.05	1900.05

【有価証券】

1900年予、1900年大 費収表
1900年予、1900年大 費収表

経費大収表

経費大収表

1900.01	1900.01	1900.01
1900.02	1900.02	1900.02
1900.03	1900.03	1900.03
1900.04	1900.04	1900.04
1900.05	1900.05	1900.05
1900.06	1900.06	1900.06
1900.07	1900.07	1900.07
1900.08	1900.08	1900.08
1900.09	1900.09	1900.09
1900.10	1900.10	1900.10
1900.11	1900.11	1900.11
1900.12	1900.12	1900.12

1900.01	1900.01	1900.01
1900.02	1900.02	1900.02
1900.03	1900.03	1900.03
1900.04	1900.04	1900.04
1900.05	1900.05	1900.05
1900.06	1900.06	1900.06
1900.07	1900.07	1900.07
1900.08	1900.08	1900.08
1900.09	1900.09	1900.09
1900.10	1900.10	1900.10
1900.11	1900.11	1900.11
1900.12	1900.12	1900.12

1900年予、1900年大 費収表
1900年予、1900年大 費収表

1900年予、1900年大 費収表
1900年予、1900年大 費収表

役割分担詳細【本部】

1 本部

6時45分 ■ニツ橋公園に集合します。

飯沼、上田、波木井、廣瀬、鈴木、加田、元良、湯谷、石田、恵方谷、根方、斉藤、名雪、中取、菅、土居 ※菊地看護師は7時45分にニツ橋公園に集合。
手分けして、2号車から受付用物品を搬出します。

(1) ニツ橋公園のスタート会場準備・運営 7時00分～9時15分

- ・全体指揮：飯沼
- ・受付担当14人：警備8人+本部6人（廣瀬※1、菅※1、加田、元良、湯谷、土居※2）
- ・物品担当15人：警備8人+本部7人（石田、恵方谷、根方、斉藤、鈴木※3、中取、名雪）
- ・よこはまウォーキングポイント（WVP）受付：区職員2人+市職員
- ・開会式・整列担当11人：先導等9人+本部2人（波木井、上田）
- ・健康チェック：本部1名（菊地看護師）

※1：当日受付担当

※2：来賓受付・案内

※3：拠点1警備担当

<受付担当>

- ア 参加者受付は、拠点警備②、③、④、⑤、⑥、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫の8人
- イ 本部役員は、スタッフを指揮して、受付会場設置・受付作業・会場撤去などを行います。トラルの対応、当日受付なども担当します。
- ウ 本部1名（鈴木）は、先頭に行き、最後尾が通過するまで拠点1の警備を行います。

<物品担当>

- ア 参加者への物品配布は、拠点警備⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫の8人
- イ 本部役員は、スタッフを指揮して、参加者への物品配布、スタッフへの物品配布、ゴールや休憩所へ運ぶ物品の対応、受付担当との連携、トラル対応なども行います。

<開会式・整列・スタート担当>

- ア 前半先導・後尾の4人と拠点警備⑩、⑪、⑫、⑬、⑭の9人（⑭は三ツ境駅案内）
 - イ 本部役員は、スタッフを指揮して、開会式場の設置・参加者の整列・会場の案内などを行います。
 - a) 整理券の番号のカラーコーンの後ろに、それぞれ2列で整列させます。
 - ※石灰によるラインは引けないため、間隔を空けてコーンを配置する。
 - b) 拡声装置などを配置し、開会式の準備をします。
- ※手の空いている警備担当者がいたら、物品の袋詰め作業を手伝うよう促す。
- c) 整理券の番号順に1列ずつスタートします。信号で詰まらないよう、次の列をスタートさせるまで、約30～40秒程度の時間を空けるようにします。

※隣の列の人が一緒にスタートしないように注意

d) スタート直後の混乱に注意し、団子状態にならないよう配慮します。

準備	場内	3.5		4.5		4.5		3.5	
		区間所要	時刻	区間所要	時刻	区間所要	時刻	区間所要	時刻
1	スタート(ニツ橋公園)	0:00	8:45	8:45	8:45	8:55	8:55	8:55	9:00
2	ニツ橋南公園入口	0:30	22:78	3:3	8:48	4:0	8:49	5:1	9:00
(失印)	押しボタン式信号	0:60	30	22:48	3:3	8:51	4:0	8:53	5:1
3	大榎橋	0:82	0:16	22:26	1:7	8:53	2:1	8:55	2:7
4	東山橋	1:04	0:22	22:04	2:4	8:56	2:9	8:58	3:8
5	中橋	1:60	0:56	21:48	6:1	9:02	7:5	9:06	9:6
6,7	宮沢遊水池横断歩道	2:35	0:75	20:73	8:2	9:10	10:0	9:16	12:9
8,9,10	宮沢遊水池横断歩道	3:10	0:75	19:98	8:2	9:18	10:0	9:26	12:9
11	日枝神社先折点	3:66	0:56	19:42	6:1	9:24	7:5	9:33	1:1
12	日枝神社先折点	3:72	0:06	19:36	6:7	9:25	8:8	9:34	1:1
(失印)	大坪橋付近	4:06	0:34	19:02	3:7	9:29	4:5	9:39	5:8
13	宮西橋除道	4:66	0:94	18:42	10:2	9:35	12:5	9:47	16:1
14	狭かなる道	5:06	0:40	18:02	4:4	9:40	5:3	9:52	6:9
(失印)	神田橋	5:86	0:80	17:22	8:7	9:48	10:7	10:03	13:7
15	泉公堂前	6:26	0:40	16:82	4:4	9:53	5:3	10:08	6:9
	泉公堂	6:26	0:00	16:82	0:0	9:53	0:0	10:08	0:0
	<休憩時間>								
16	泉橋交差点	6:52	0:26	16:56	2:3	10:27	2:8	10:55	3:6
17	御殿橋	7:53	1:01	15:55	11:0	10:07	13:5	10:30	17:3
18	草木橋付近	8:24	0:71	14:84	7:7	10:14	9:5	10:39	12:2
19	下榎田駅前信号	8:59	0:35	14:49	3:8	10:18	4:7	10:44	6:0
(失印)	V字路	9:05	0:45	14:03	5:0	10:23	5:1	10:50	7:9
20,21	富士塚公園横断歩道	9:22	0:17	13:86	1:9	10:25	2:3	10:52	2:9
22	白鷺橋手前(倉庫地点)	9:43	0:21	13:65	2:3	10:35	8:9	11:04	11:5
25,26	白鷺橋横断歩道	10:10	0:67	12:98	7:3	10:35	8:9	11:04	11:5
(失印)	境川遊水池公園入口	10:52	0:42	12:56	4:6	10:39	5:6	11:10	7:2
(失印)	境川遊水池公園入口	10:56	0:44	12:12	4:8	10:44	5:9	11:16	7:5
27	穴倉マンヨリ橋	11:15	0:19	11:93	2:1	10:46	2:5	11:18	3:3
(失印)	穴倉住居入口(坂上平路)	11:50	0:35	11:58	3:8	10:50	4:7	11:23	5:0
28	藤沢街道交差点信号	12:24	0:74	10:84	3:1	10:58	9:9	11:33	12:7
29	穴倉駅前横断歩道	12:54	0:30	10:54	3:3	11:01	4:0	11:37	5:1
30	穴倉駅前西側横断歩道	12:70	0:16	10:38	1:7	11:03	2:1	11:39	2:7
(失印)	日大下突き当り角	13:51	0:81	9:57	8:8	11:12	10:8	11:50	13:9
31	日大西側信号	13:78	0:27	9:30	2:9	11:15	3:6	11:53	4:6
32	軟木橋	14:68	0:90	8:40	9:8	11:25	12:0	12:05	15:4
33	石川橋	15:18	0:50	7:90	5:5	11:30	6:7	12:12	8:6
34	新石川橋	15:51	0:33	7:57	3:6	11:34	4:4	12:16	5:7
35	石川下河内橋	15:67	0:16	7:41	1:7	11:35	2:1	12:18	2:7
(失印)	引地川親水公園入口手前	15:92	0:25	7:16	2:7	11:38	3:3	12:22	4:3
	引地川親水公園トイレ	16:92	1:00	6:16	10:9	11:49	13:3	12:35	17:1
	<休憩時間>								
(失印)	引地川親水公園出口	17:43	0:51	5:55	5:6	11:55	8:8	13:02	8:7
36	橋名橋	18:11	0:68	4:97	7:4	12:02	9:1	13:11	11:7
37	引地橋	18:80	0:69	4:28	7:5	12:10	9:2	13:20	11:8
38	引地橋	20:06	1:26	3:02	13:7	12:23	16:8	13:37	21:6
39	穴倉公園入口	20:43	0:37	2:65	4:0	12:27	4:9	13:42	5:3
40	穴倉公園南口横断歩道	20:70	0:27	2:38	2:9	12:30	3:6	13:46	4:6
41	警沼橋歩道橋手前	22:68	1:98	0:40	21:6	12:52	26:4	14:12	33:9
	ゴール	23:08	0:40		4:4	12:56	5:3	14:17	6:9
	合計	23:08	0:40		25:55	0:40	33:72	0:40	43:64

※：距離は概算値
【警沼海岸駅方面(徒歩帰宅案内)】
42 地下道先交差点 13:00
43 親切手前交差点 13:05
【参考】ゴールから警沼海岸駅まで約700m(10分)、新江ノ島水鏡橋まで約1.3km(20分)、【11/25の日没16:32】
片瀬江ノ島駅まで約1.65km(25分)、江ノ島駅まで約2.6km(40分)

(2) 本部移動

- ア 泉公会堂案内担当 (廣瀬、崎濱)
 - a) 弁当を積んで出発します。
 - b) 泉公会堂で荷物を降ろし、泉区役所の地下駐車場に車を停めます。
 - c) 警備 15 と協力し、「泉区役所のトイレは使えないので、泉公会堂トイレを利用するよう」参加者に声をかけてください。
- d) 本部 1 名 (または泉 1/2) は、泉区役所通用口前に立ち、参加者が立ち入らないようにします。
- c) 最後尾が来たら、館内の確認をして、警備用物品の回収、弁当の配布を行い、警備担当者を解散させてから車で湘南台公園に向かいます。
- イ 2 号車担当 (波木井、飯沼) は、撤収した荷物を積んで湘南台公園に向かいます。
- ウ その他の本部役員は、電車で湘南台公園に移動します。

(3) 湘南台公園のスタート運営 (2 号車到着予定 9 時 55 分)

- ・湘南台受付担当：警備 2、4、39+本部 4 名 (菅※1、加田、元良、湯谷)
- ・湘南台物品担当：警備 3、40、41、30~35+本部 5 名 (石田、根方、斉藤、鈴木※2、恵方谷※2)
- ・救護 (健康チェック)：菊地看護師
- ・湘南台出発担当：本部 4 名 (上田、飯沼、中塚、名雪)
- ・湘南台ゴール担当：本部 2 名 (土居、波木井) ※1：当日受付 ※2：警備 23-1/2 担当
- ・YWP 受付：区職員 1 人+市職員
- ・湘南台駅案内担当：36~38

ア 本部役員は、スタッフを指揮して、会場の設営・参加者の整列・会場の案内などを行います。

- ① 拠点警備 2 4~4 1 (1 8 人)、後半先導・後尾(4 人)に物品を渡します。
- ② 受付に必要な物品を 2 号車から降ろし、スタート会場の設営を行います。
 - 机 15 (受付×2、物品×2、救護用×1)、椅子 3、スピーカー、のぼり旗等
- ③ 受け付け終了者を整列させます。
- ④ 20~30 人ずつまとめて注意事項を伝達し、準備体操後、順次スタートさせます。
 - ※ スタート直後の混乱に注意し団子状態にないように配慮する
- ⑤ 本部 2 名 (鈴木、恵方谷) は、先頭に同行し、前半最後尾が戻るまで拠点 23-1 及び 23-2 の警備を行います。

イ 六会担当役員 2 人 (石田、斉藤) は、リタイア対応物品 20 人分を持ち、電車で六会日大前駅に向かいます。

ウ 泉公会堂担当車が湘南台公園に着いたら、2 号車からゴール用荷物を積み込み、仮設ゴール担当役員 3 人 (廣瀬、加田、根方) が車で先に出発して「仮ゴール」を開設します。

エ 湘南台公園で全員出発したら、受付の撤収を行い、物品担当 2 人 (上田、元良) と 2 号車担当 (波木井、飯沼) と看護師を残し、電車でサーフビレッジに移動します。残ったメンバーで湘南台ゴール業務を引き継ぎます。

オ 前半警備担当車が湘南台公園に着いたら、物品を回収し、弁当・茶等を渡し解散式を行います。

カ 2 号車はゴールに移動開始し、物品担当者は完全撤去を確認後、電車で藤沢本町駅に向かい、物品回収を行います。

(4) 六会日大前駅物品担当 (石田、斉藤) 2 人

- ア リタイア対応物品を持ち、11:30 頃の電車で湘南台から六会日大前駅に移動します。
- イ 駅通路の改札付近で、最後尾が到着するまでの間、A コースのリタイア者対応を行います。
- ウ 最後尾が到着したら、警備 25~29 の物品回収を行い、電車で鶴沼海岸駅からゴールに移動します。

(5) 藤沢本町駅物品回収 (上田、元良) 2 人

- ア 前半後尾が到着するまで、C コースゴールの対応を行います。
- イ 前半後尾が到着したら、警備物品を回収し、湘南台公園の完全撤収を確認後、藤沢本町駅に向かいます。
- ウ 藤沢本町駅改札内で、警備 30~37 の物品回収を行い、鶴沼海岸駅からゴールに移動します。

(6) サーフビレッジゴールの運営 (県立湘南海岸公園内)

ア 仮設ゴール担当の 3 人 (廣瀬、加田、根方) は、車で先にゴール地点へ行き、物品 (記念品・アンケート記入用具等) を準備して、1 2 時 45 分頃から「サーフビレッジ仮ゴール」を開設します。

本部が到着するまで、1 名は鶴沼橋歩道橋下でゴールの案内をします。

※ 本部 (電車移動組) は 1 2 時 45 分頃、2 号車は 1 3 時 15 分頃到着予定

イ アンケートと引き換えに、完歩証と記念品を渡します。

アンケート回収後に完歩証と記念品を渡し、三角くじを引いてもらいます。当選していたら該当の景品を手渡します。

ウ 後半先導・後尾及び警備拠点の物品を回収します。

エ 鶴沼海岸駅までの案内・警備 (42, 43)、及び鶴沼橋歩道橋下のゴール案内を交代で担当します。

オ 最後尾到着後も、念のため閉鎖予定時刻の 1 6 時 30 分まで待ち、時間になったら完全撤収して三ツ境へ戻ります。

カ 1 号車の荷物は全て 2 号車に移し、給油後トヨタレンタリース三ツ境店に返却します。

キ 2 号車は三ツ境の民間駐車場等に置き、翌日区役所へ荷物を戻し、給油後トヨタレンタリース三ツ境店に返却します。

役割分担詳細【拠点別】

■ 全体注意事項

- ① 当日の集合時間を厳守してください。
やむなく当日急ぎよ欠席の場合は、地区会長に連絡し、できるだけ代理の方を出席させてください。代理が無理な場合は、できるだけ早く本部携帯へ電話をください。
- ② 当日は、スポーツ推進委員の帽子を着用してください。その他は特に規定しません。
- ③ 屋敷用のお弁当とお茶を用意します。
- ④ 事故・怪我・体調不調などの参加者がいた場合、名前等を確認してください。
怪我等の場合、主催者として加入した傷害保険の範囲内で補償します。
(補償内容：通常通り「健康保険証」で受診し、通院で数千円補償される等)
- ⑤ 休憩場所を除き、集合から解散までは禁煙をお願いします。また、緊急時以外のスマホの利用もご遠慮ください。
- ⑥ その他、何かありましたら大会本部に連絡してください。
「大会本部」本部1：070-3822-2172

■ 配付物

配布物一覧表を参照してください。カット料、軍手、カッパは返却不要です。

■ 先導・後尾の共通事項

<先導の共通事項>

- (1) 設定時間を基本にペースを守って歩いてください。
参加者が、先頭を追い越しても構いませんが、拠点警備がない場合や記念品の配布についてゴール地点で待つ場合があることを（できるだけ）説明してください。
- (2) 安全に気をつけ、横に広がって他の交通の迷惑にならないよう適宜指示してください。
2人一緒に行動することが基本です。ただし、状況により1人が一時的に離れ、安全への注意を行うなど臨機応変な対応をお願いします。
- (3) 休憩所やゴールに近づいた時など、必要に応じ本部に連絡してください（地図参照）。
- (4) コースガイドに「ちよつと寄り道」として載せてあります。その地点では参加者がコースを外れることがあるのでご承知おきください。
- (5) コースから分岐するトイレについては、全て立ち寄る必要はありませんが、後続の方に案内をしてください。

<後尾の共通事項>

- (1) 設定時間内であれば問題ないので、無理に急がせないでください。
- (2) 2人一緒に行動することが基本ですが、状況により一時的に離れ、安全への注意を行うなどの対応をお願いします。同行する拠点警備終了者と協力し、臨機応変に対応してください。
- (3) 休憩所やゴールに近づいた時など、適宜状況を本部へご連絡ください（地図参照）。
- (4) コースガイドに「ちよつと寄り道」として載せてありますので、戻ってください。
- (5) コースから分岐するトイレについては、全て立ち寄って確認してください。

前半【二ツ橋公園スタート担当】7:30 二ツ橋公園集合

受付：警 2, 3, 4, 9, 13, 警 16, 泉 1, 泉 2 (8人→3人)
物品：警 5→8, 14, 15, 警 17, 18, 19 (9人→3人)
場内整理：先導・後尾、警 10→12, 警 20, 21
(下線は 8:30 に移動開始)

1 前半先導 集合時間 7時30分 【2人】

二ツ橋公園に集合し、本部役員の指示で開会式準備と参加者の整列を担当します。

- (1) 集合したら、二ツ橋公園で会場設営をします。机等の運搬・配置など本部役員の指示で動いてください。
- (2) 出欠確認を受け、必要物品を受取ります。
- (3) 受付の済んだ参加者を、整理券の順番に並びませます。
- (4) スタートの合図で先頭を歩き、二ツ橋公園から拠点 2 まで参加者を誘導します。
コースの他の歩行者や自転車に対しての注意や狭いコースや住宅街を通行する際には適宜注意を促してください。
- (5) 今年は泉公会堂のトイレのみ使用できます。公会堂の一般利用者の迷惑にならないよう、館内では休憩せず、直ちに出発してください。泉区役所のトイレは使えません。
- (6) 中継場所（拠点 2 2）で旗・携帯電話等の「引継ぎ物品」を後半先導の人に引継ぎます。
- (7) 後半後尾が湘南台スタート組を先導してくるまで、拠点 2 2 でそのまま警備を行います。

警備場所はAコースとCコースの分岐点となるため、パンダナの色を見てコースを間違えないよう注意して誘導してください。後半後尾と交代したら、湘南台公園の本部スタッフと合流し受付業務等を手伝い、終了後、弁当セットを受け取り解散です。

2 前半後尾 集合時間 7時30分 【2人】

二ツ橋公園に集合し、本部役員の指示で開会式準備と参加者の整列を担当します。

- (1) 二ツ橋公園の会場設営をします。
- (2) 必要物品を受取ります。
- (3) 受付の済んだ参加者を、整理券の順番に並びませます。
- (4) 泉公会堂付近までトイレがないので、済ませておくよう声掛けしてください。
- (5) 受付時に配布した整理券番号順に、30～40人ずつスタートさせます。本部の担当者に協力し、隣の列の人が一緒にスタートしないように場内整理に協力してください。
- (6) 二ツ橋公園から拠点 2 2 まで最後尾を歩きますが、Aコース参加者の最後尾を見逃さないように注意してください。もしCコース参加者の最後尾が遅れ、Aコース参加者の最後尾を見失いそうになったら、最後尾担当 2 人の内 1 人がAコース参加者の最後尾に付いて分岐点まで歩いてください。

(7) 泉公会堂トイレに立ち寄って、残っている人がいないことを確認してください。

(8) 中継地点（拠点 2 2）で後半後尾に引継ぎをし、湘南台公園撤収の手伝いが終わったら弁当セットを受け取り解散です。

■ 拠点警備共通

「おはようございます」「こんにちは」「お疲れ様です」「天気が良いですね」など、明るく言葉をかけてください（毎回参加者から好評です）。

- (1) 各拠点で「黄旗」を使い、参加者を安全に誘導・指示してください。
 - ・ 信号のある交差点では信号を守るように声かけてください（点滅で無理しない）。
 - ・ 信号のない交差点では特に車や自転車に注意して横断させてください。
 - ・ 信号・横断歩道ともに無い横断場所が数箇所あり、特に安全に注意してください。
 - ・ 道路に出て誘導すると危険です。後方の車など、自身の安全にも気を配りましょう。
- (2) 歩道でも他の歩行者や自転車などの通行の妨げにならないように、横に広がらず、なるべく端を歩くよう指示してください。
- (3) 最後尾が到着したら一緒に解散場所まで歩きます。その場合、最後尾担当者の手伝いをします。参加者の体調などを見ながら、遅れている人を無理に急がせないでください。
- (4) 住宅街などでは大きな声（おしゃべり）にも注意してください。
- (5) 案内の矢印は、交通標識のポールには絶対にかけないでください。
- (6) 複数の矢印を担当する人は、順番を間違えないようにしてください（残距離表示のため）。

3 拠点警備2～2.1、泉1.2 集合時間7時30分（二ツ橋公園）

出欠確認を受け、物品を受取り、担当別に分かれ会場の運営を行います。
本部役員の指示で、物品の搬出、受付場所の設置、開会式会場の設置を行ってください。

(1) 【受付担当】の仕事

- ア 拠点②、③、④、⑨、⑩、⑬、⑭、⑯、⑰、⑱、⑲が参加者の受付（名簿照合）を担当します。
- イ あらかじめ、受付名簿を代表者の50音順にテーブル2つに振り分けておきます。
- ウ 来場順にA/Cコース参加者の受付を行います（場所は共通）。代表者がまとめて受付をするように指示してください。
- エ **【受付名簿】は代表者名（郵便振替受領証の宛名・支払い者名）のアイエオ順です。**
申込書に記載されていた参加者の名前は、名簿の代表者名の下に続けて記載されています。代表者名を確認し、その参加者分も受付名簿に○を付けます。
- オ 二ツ橋公園からはAコースとCコースがスタートします。A/Cコース用それぞれの物品配布票に参加人数を朱書きし、物品配布場所へ行くよう指示します。受領証は、参加人数が確認できたらそのまま代表者に返却してください。
- カ 受領証を忘れてしまった場合は、全員前っているか確認し、「物品配布票」にグループの人数をコース別に記入して渡してください。ダブって受付しないように気をつけてください。
※1枚の申込用紙で出発場所の異なるコースの申込みがされている場合、二ツ橋公園から出発するA/Cコースの人数のみを確認します。
- キ 代表者名が分からなかった場合に備え、参加者のアイエオ順から代表者名を後索できる**【参加者名簿】**も用意してあります。これにより代表者の受付が済んでいるかどうかを確認し、受付済みであればその旨を伝え、未受付であれば代表者が受付するまで待つてください（二重受付を防止するため）。
万一不明な点があれば、本部役員にご確認ください。

- ク 定員に達していなければ、大会当日の参加申込みも受け付け可能です。「当日受付の本部専任者」に引継いでください。
- ケ 「よこはまウォーキングポイント」の歩数計当日受領に事前に申し込まれた方が来たら、専用の受付ブースを案内してください。
- コ **拠点②、③、④、⑨、⑩の5名は、8時30分になったら警備拠点への移動を開始します。**
5分前位から引き継ぎや持ち物の確認等の準備を始めてください。

(2) 【物品担当】の仕事

- ア 拠点⑤、⑥、⑦、⑧、⑭、⑮、⑰、⑱が担当します。
- イ 受付が済んだ人の物品配布票に記載の数を確認し、参加者用物品（整理券、コースガイド、バンドナ、水、アンケート用紙）を渡します。AコースとCコースでバンドナの色が異なるため、物品配布票をよく確認して渡してください。整理券以外は、あらかじめビニール袋に一人分ずつ入れて用意しておいてください。
- ウ 物品配布票は回収しますが、受領書は回収不要です。
- エ 整理券はNo.1～No.10まで、それぞれ30～40枚ずつ作ってあります。
- オ 物品を受取りに来た順番に、グループで同じ番号の整理券になるように順番に渡してください。例えばNo.1が残り3枚になった時に、もし4人のグループが来たら、No.1の残り3枚は破棄してNo.2を4枚渡していただいて結構です。
- カ 1番から10番の番号を付けたカラーコーンが並んでいるので、整理券と同じ番号の場所に並ぶよう指示してください。また、バンドナは前から見えないように伝えるよう伝えてください。
- キ **拠点⑤、⑥、⑦、⑧、⑭、⑮、⑰、⑱の6名は、8時30分になったら警備拠点への移動を開始します。**5分前位から引き継ぎや持ち物の確認等の準備を始めてください。

(3) 【場内整理担当】の仕事

- ア 前半の先頭/後尾各2名、拠点⑩～⑬、⑰、⑱が担当します。
- イ 受付の済んだ参加者を、整理券と同じ番号のカラーコーンの列に並ばせます。
- ウ 泉公会堂付近（約6.5km/1.5時間）まで大きなトイレがないことを伝え、なるべく済ませておくよう声をかけてください（但し、瀬谷区役所トイレは8:15から利用可）。
- エ バンドナは、前か見えるところに付けてもらうよう声をかけてください。
- エ 手が空いている時は、物品の袋詰め作業を手伝ってください。
- オ 少し時間を空けながら整理券の番号順に出発します。隣の列の人が一緒にスタートしないように、誘導してください。
- カ **拠点⑩～⑬の3名は、8時30分になったら警備拠点への移動を開始します。**
5分前位から引き継ぎや持ち物の確認等の準備を始めてください。
- キ 拠点⑩は、三ツ橋駅駅出口で二ツ橋公園の案内を行います。出発時刻の8時45分になったら案内を終了し、電車で湘南台公園に移動開始します。
- (4) 拠点⑭～⑱は、開会式が始まる8時30分頃、本部の指示で先頭より先に各拠点まで歩いて移動を開始し、警備に就きます。その他の人は、受付を縮小して業務を続けます。
- (5) 拠点⑩～⑭、泉1,2は、受付の片付け、2号車への荷物の積み込みを手伝い、いずみ中央駅まで電車で移動します。

(6) 拠点②～④は、最後尾通過後、三ツ境駅まで戻り電車で湘南台駅へ移動し、湘南台公園でのスタート/ゴールの受付業務を手伝います。

(7) 拠点⑤～⑧は、前半最後尾と一緒に泉公会堂まで歩き、手分けして泉公会堂の片付けを手伝い、弁当セットを受け取り解散です。

(8) 拠点⑨は本部役員と協力し、「泉区役所は使えないので、トイレは泉公会堂を利用するよう」参加者に声をかけてください。

(9) 拠点⑩～⑫は、いずみ中央駅から歩いて警備に就き、最後尾と一緒に湘南台公園まで歩き、弁当セットをもらって解散します。

後半【湘南台スタート担当】9:40 湘南台公園集合

受付:警 2、4、38+本部

物品:警 3、40、41+本部

駅案内:警 36～38
物品配布手伝い:場内整理:警 29～35

5 後半先導 集合時間9時40分 (湘南台公園)【2人】

- (1) 湘南台公園で2号車の荷物おろしを手伝い、ゼッケン・弁当などの物品を受け取ります。
- (2) 直ちに拠点2.2まで移動して警備を行い、前半先導が到着したら物品 (のぼり旗、携帯電話等) を引継ぎ、速やかに出発します。
- (3) ゴールまで先頭を歩きます。
- (4) 引地川親水公園のトイレのある広場付近で約20分間の昼食休憩を取り、合図をして出発してください。
- (5) サーフビレッジゴールを手伝い、解散です。

6 後半後尾 集合時間9時40分 (湘南台公園)【2人】

- (1) 湘南台公園で2号車の荷物おろしを手伝い、ゼッケン・弁当などの物品を受け取ります。
- (2) 注意事項を聞くまで出発しないように、参加者を整列させておいてください。
- (3) 1人は湘南台公園を最初に出発する参加者を先導し、拠点2.2でAコース参加者たちに合流させ、前半先導と交代して、その場で合流地点での誘導を続けてください。警備場所はAコースとCコースの分岐点となるため、バンダナの色を見てコースを見間違えないよう注意して誘導してください。
- (4) もう1人は湘南台公園を最後に出発するグループの最後尾に付いて歩き、拠点2.2で前半後尾の到着まで警備します。
- (5) 前半後尾が2人とも到着したら旗・携帯電話等を引き継ぎ、ゴールまで最後尾を歩きます。当日の状況により、前半後尾がAコースとCコースの2手に分かれて到着する可能性が有りますので、もしAコースの後尾が先に到着したら、2人は最後尾を引き継いで先にスタートします。Cコース最後尾が到着したら引き継ぎ、先にスタートしたAコース最後尾を追って出発します (互いに連絡を取り合ってください)。
- (6) 本部と適時連絡を取ってください。

(7) 特に境川遊水地、引地川親水公園、長久保公園等の休憩場所やちょっと寄り道コースについては、合流した警備終了者と協力し合い、参加者が残っていないか確認してください。

★境川遊水地情報センターではイベント開催のため、特に注意してください。

(8) サーフビレッジゴール (県立湘南海岸公園内) で解散です。

7 拠点警備2.4 集合時間9時40分 (湘南台公園)

- (1) 湘南台公園で2号車の荷物おろしを手伝い、警備用物品と弁当を受け取ります。
- (2) 最初の出発グループより前に警備場所に移動し警備を行います。Bコース出発者とCコースのゴールへ向かう参加者がすれ違い形となるため、特に安全に注意して誘導してください。
- (3) 前半の最後尾が通過するまで警備を続け、湘南台公園へ戻り、役員に物品を渡して解散です。

8 拠点警備2.5～2.9 集合時間9時40分 (湘南台公園)

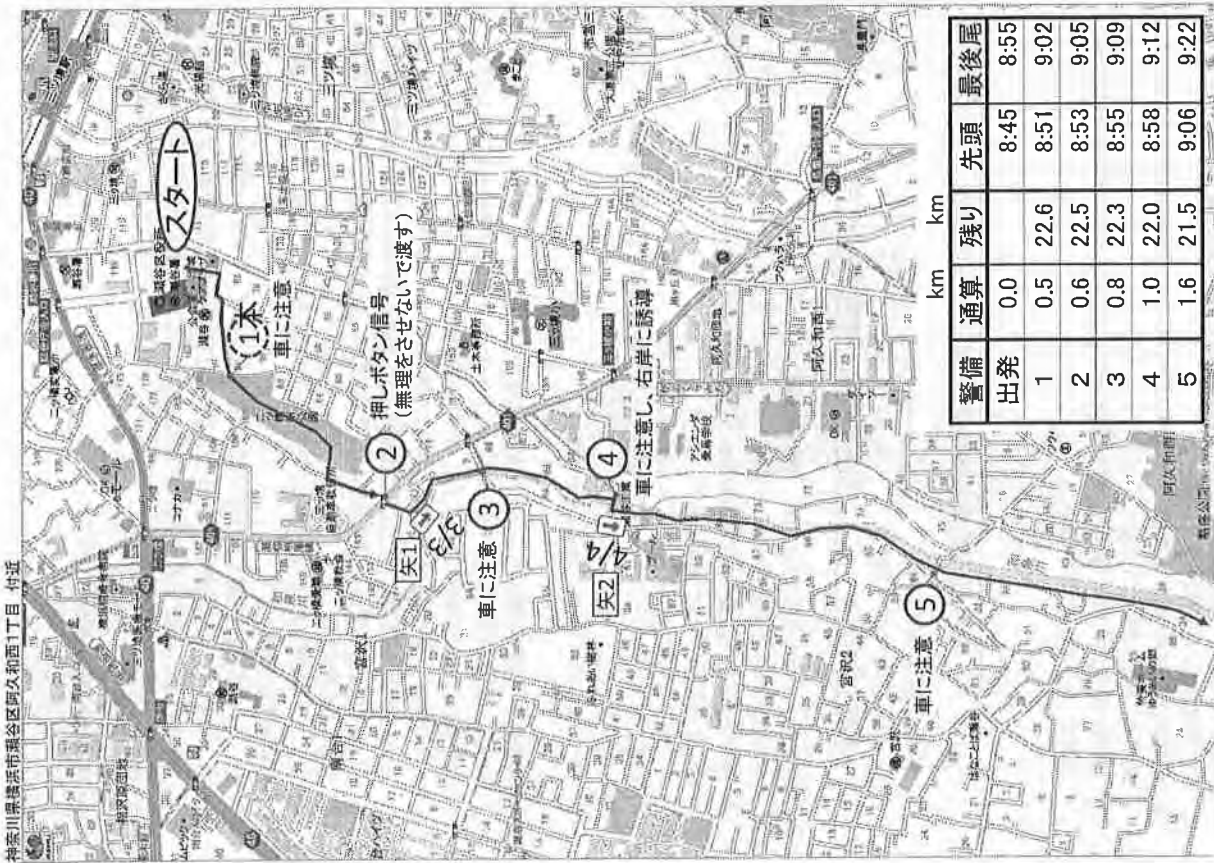
- (1) 湘南台公園で2号車の荷物おろしを手伝い、警備用物品と弁当を受け取ったら、直ちに徒歩で拠点へ移動し警備を開始します。
- (2) 後半後尾と一緒に移動し、六会日大前で役員に物品を渡して解散です。

9 拠点警備3.0～3.5 集合時間9時40分 (湘南台公園)

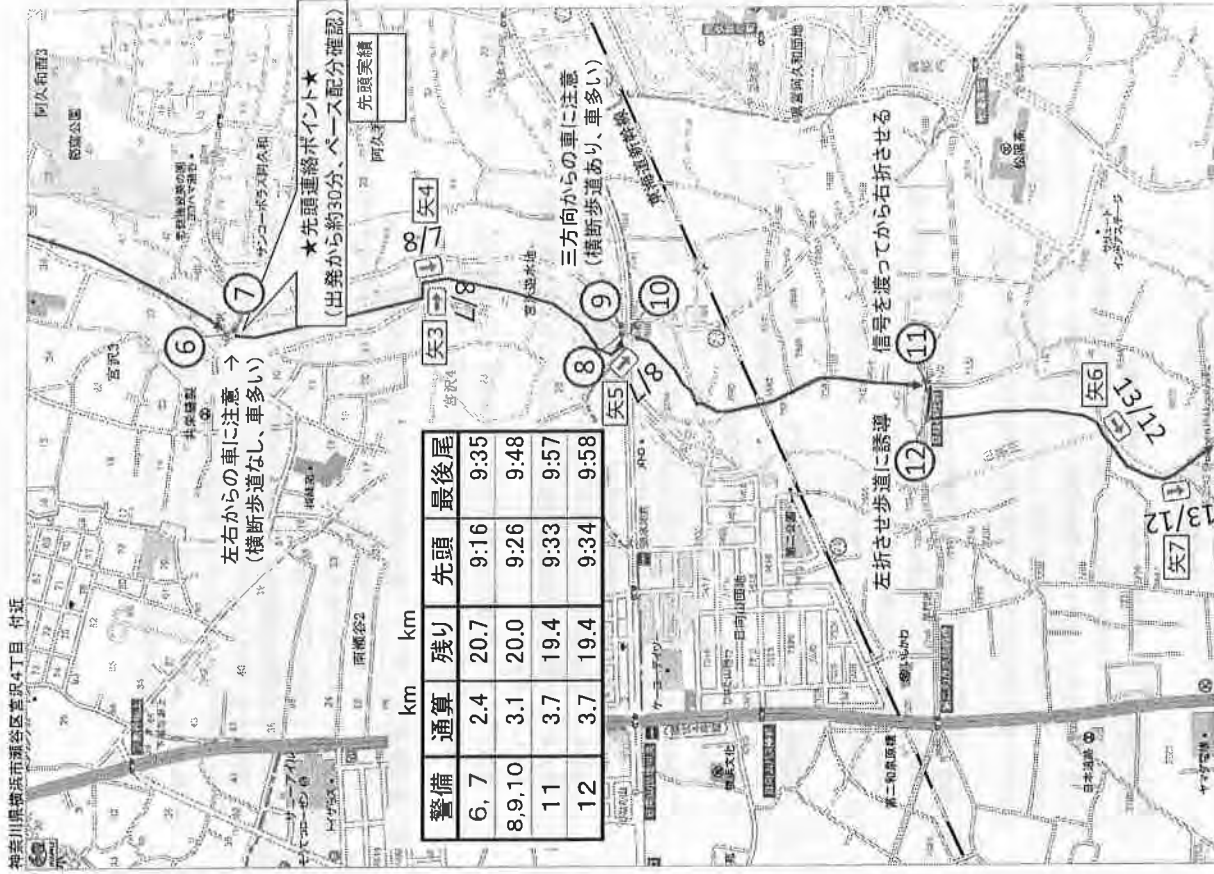
- (1) 湘南台公園で2号車の荷物おろしを手伝い、警備用物品と弁当を受け取ります。
- (2) 拠点3.0～3.5は、湘南台スタートの物品配布と場内整理を手伝い、10時54分発の電車で六会日大前駅へ移動し、徒歩で各警備場所へ向かいます。
- (3) 拠点3.0は、最後尾が通過しても15分間はその場で待機し、駅の食堂に立ち寄りしたりして最後尾より遅れて通過する参加者がいないかどうか監視します。もし、遅れた参加者がいたら名前を確認し、直ちに最後尾に連絡し、その場で待機してもらえよう伝えます。最後尾通過から15分程度経過したら、途中の矢印を回収しながら最後尾に合流してください。
- (4) 拠点3.1は、最後尾が通過しても拠点3.0が通過するまでその場で待機し、一緒に最後尾に合流してください。
- (4) 拠点3.2～3.5は最後尾と一緒に移動し、拠点3.0・3.1と合流後、引地橋から藤沢本町駅に向かい、駅改札内に待機している役員に物品を渡して解散です。

10 拠点警備3.6～4.1 集合時間9時40分 (湘南台公園)

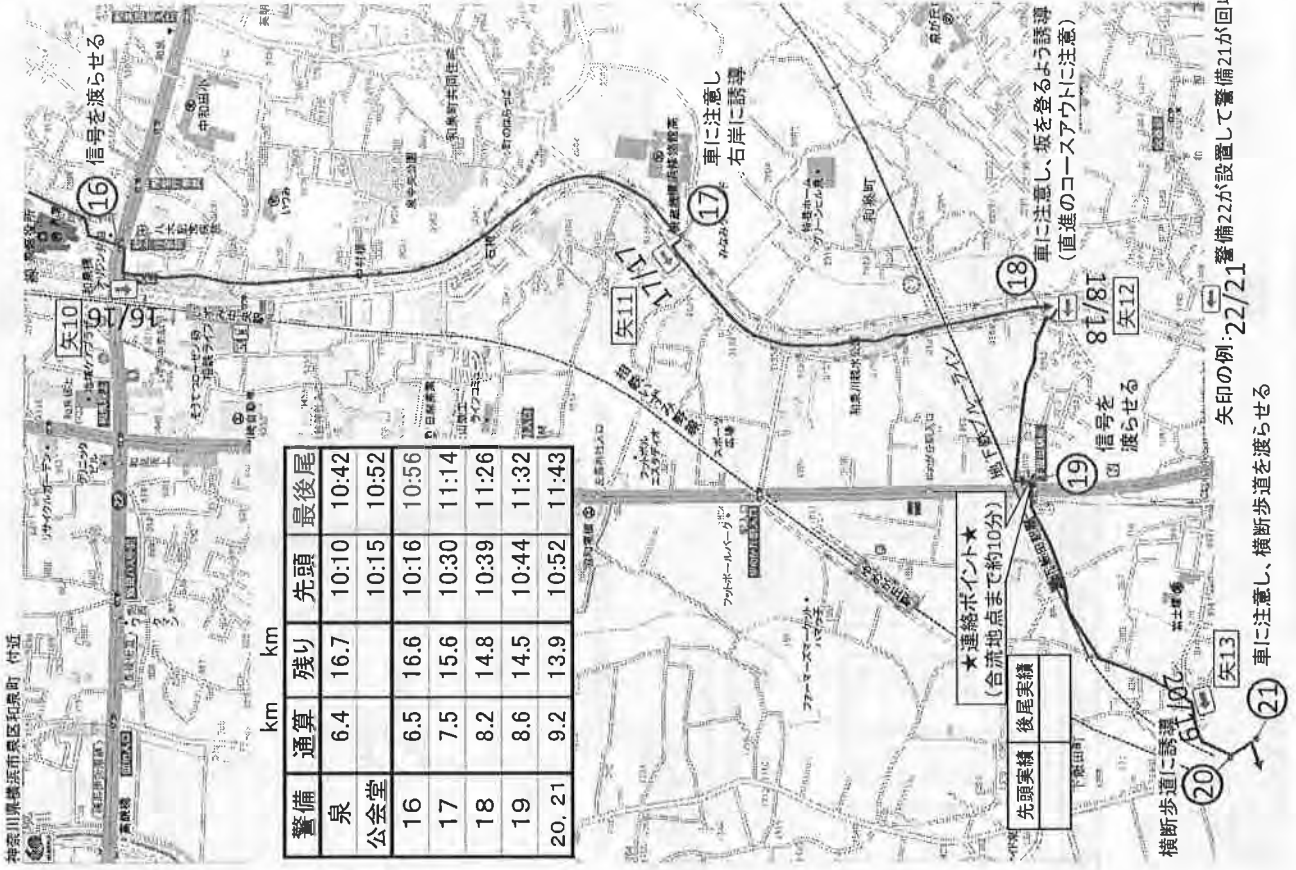
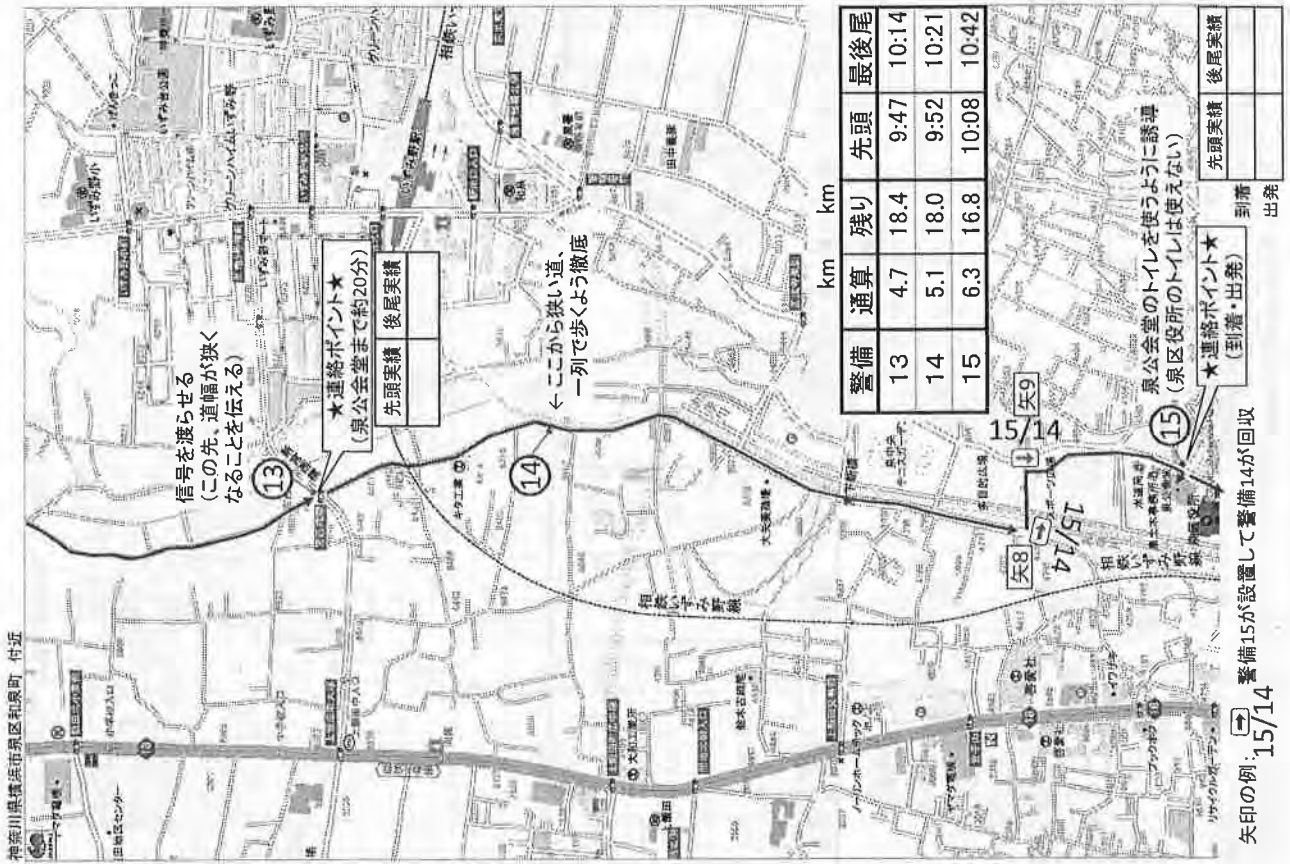
- (1) 湘南台公園で2号車の荷物おろしを手伝い、警備用物品と弁当を受け取ります。
- (2) 拠点3.6～3.8は物品を受取ったら、湘南台駅改札付近で湘南台公園への案内を開始します。11時20分頃発の電車で藤沢本町駅へ移動し、拠点警備を行います。拠点3.6は、警備場所の先 (引地川親水公園出口) にも矢印を設置します。警備終了後、拠点3.6、3.7は藤沢本町駅に向かい、駅改札内に待機している役員に物品を渡して解散です。拠点3.8は、最後尾と共に徒歩でゴールへ行き解散です。
- (2) 拠点3.9、4.0、4.1は湘南台スタートの受付、物品受渡し業務を行い、11時55分頃発の電車で本郷沼、鶴沼海岸へそれぞれ移動し、拠点警備後に最後尾とともに移動し、ゴールで解散です。



矢印の例: 3/2 警備3が設置して警備2が回収



矢印の例: 8/7 警備8が設置して警備7が回収



第26回瀬谷ふるさとウォーク 詳細地図 <5/10>



警備	通算	残り	先頭	最後尾
20	9.2	13.9	10:52	11:43
22	9.4	13.7	10:55	11:46
25	10.1	13.0	11:04	11:58
境川	11.0	12.1	11:16	12:12
27	11.2	11.9	11:18	12:16
28	12.2	10.8	11:33	12:34
29	12.5	10.5	11:37	12:39



矢印の例: 30/31 警備30が設置して警備31が回収

第26回瀬谷ふるさとウォーク 詳細地図 <6/10>

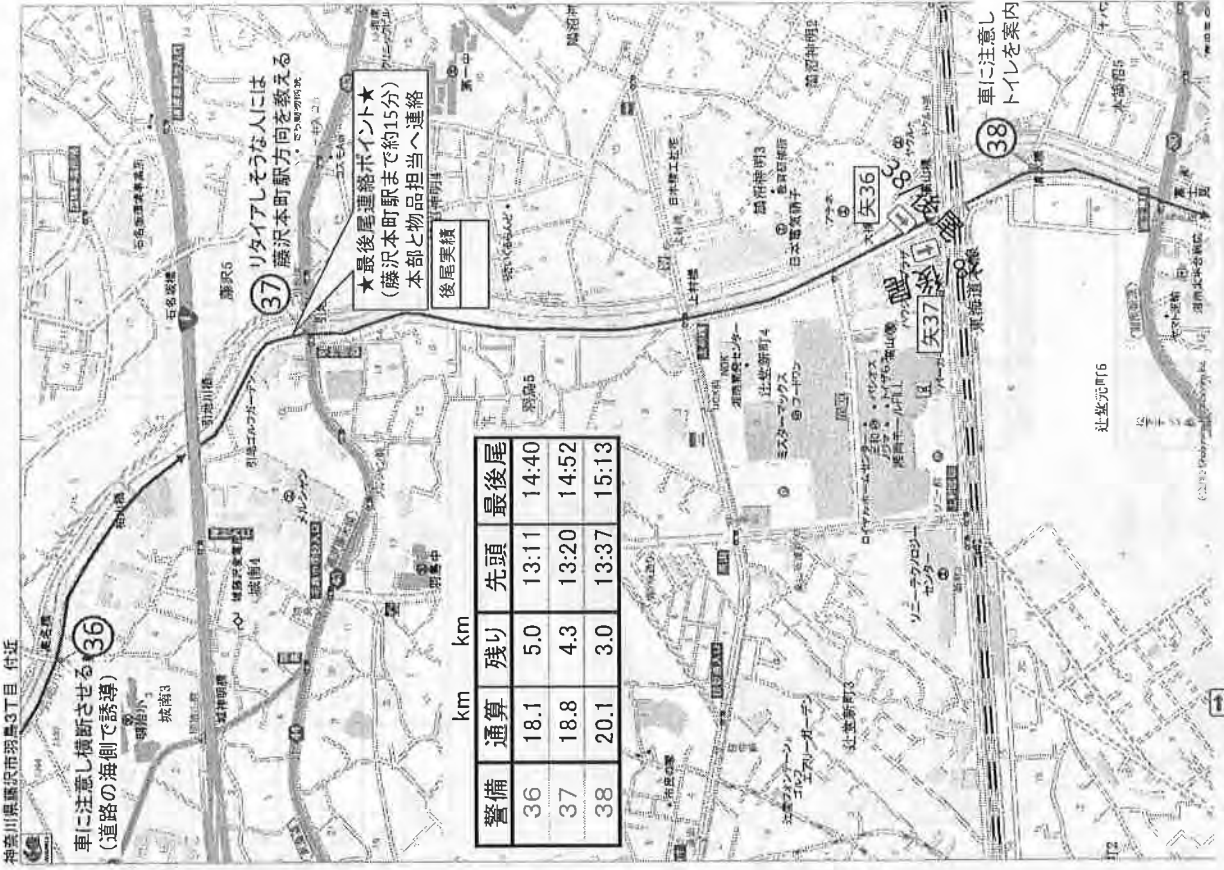
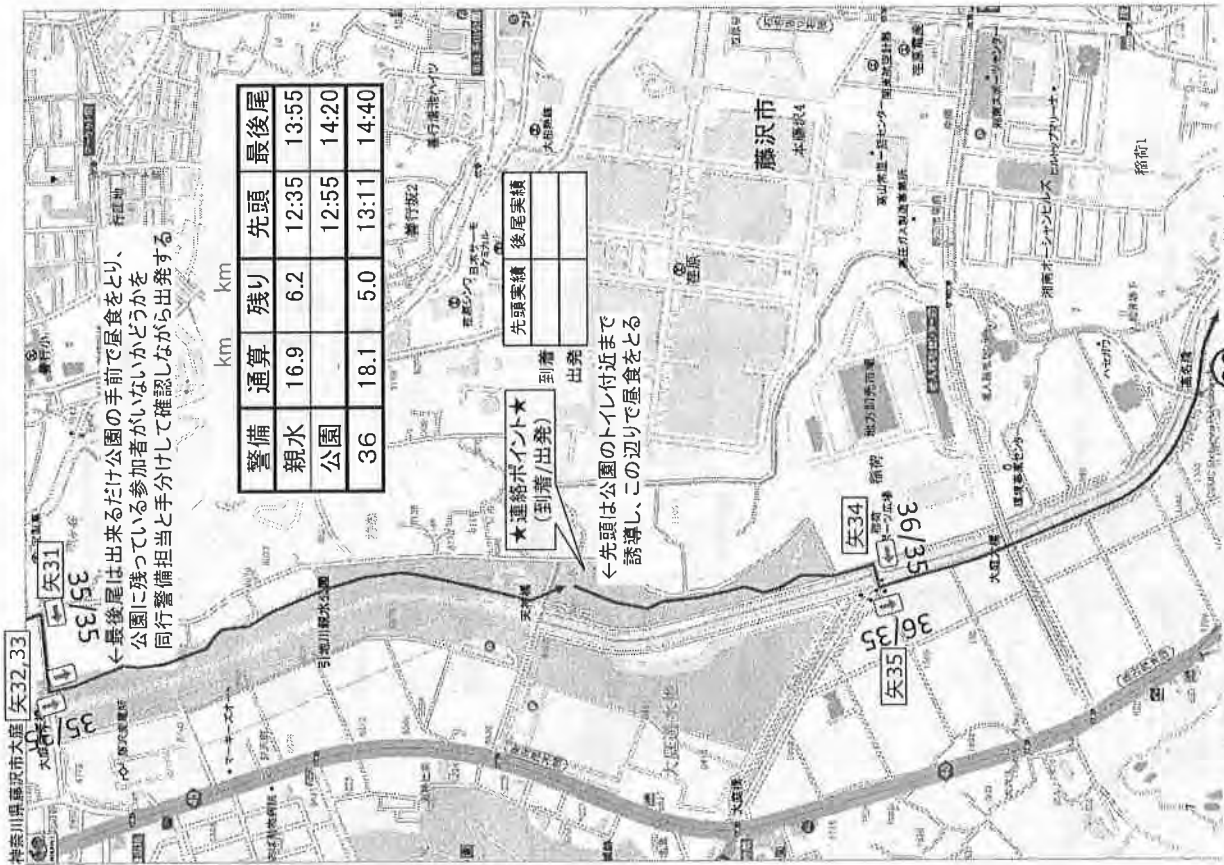


警備	通算	残り	先頭	最後尾
30	12.7	10.4	11:39	12:42
31	13.8	9.3	11:53	13:01
32	14.7	8.4	12:05	13:16
33	15.2	7.9	12:12	13:25
34	15.5	7.6	12:16	13:30
35	15.7	7.4	12:18	13:33

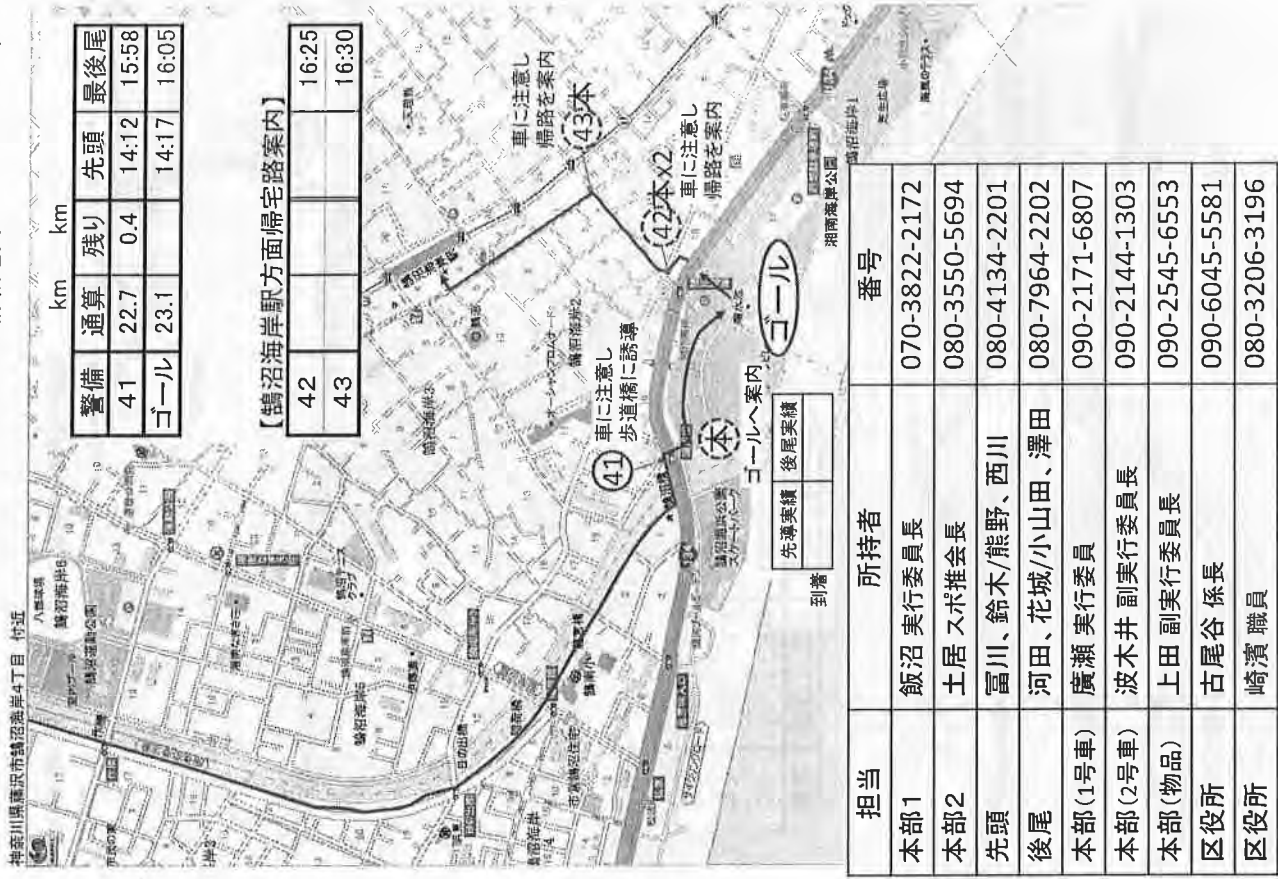
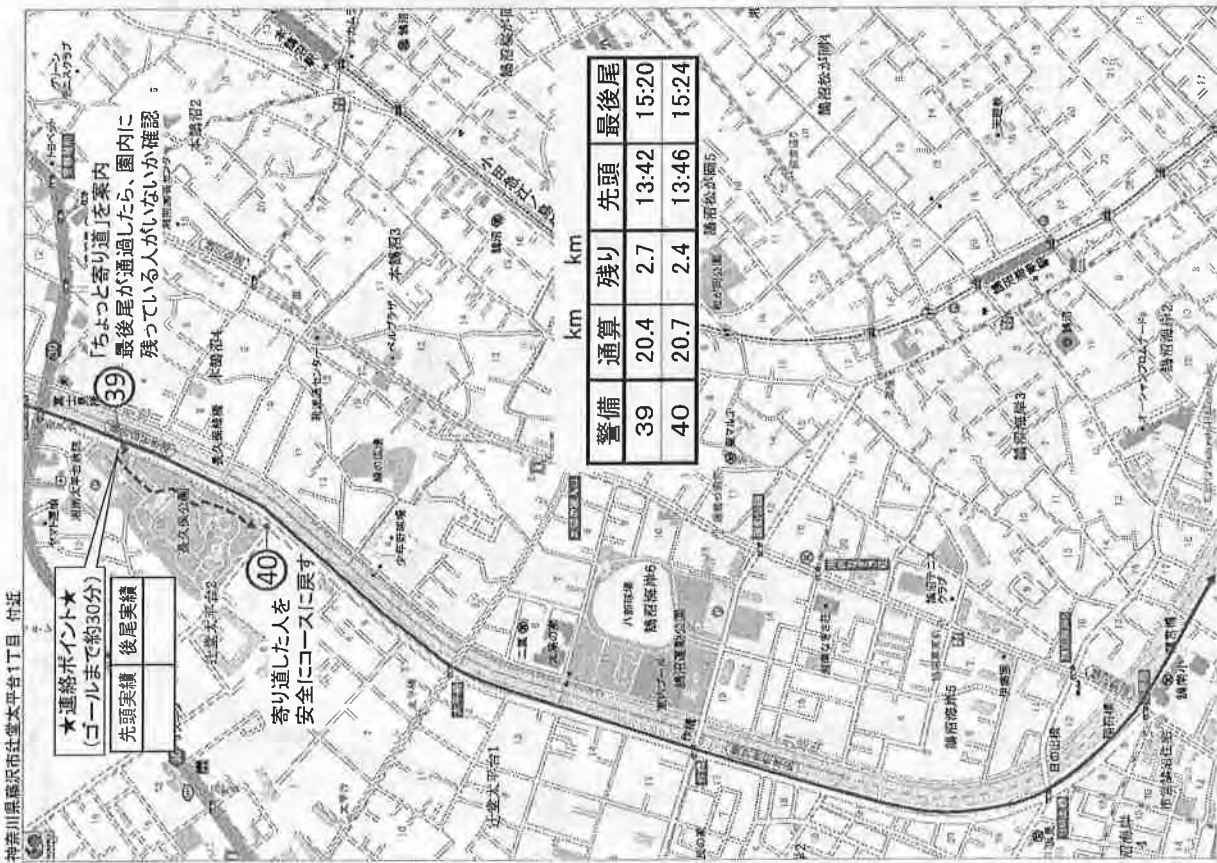


矢印の例: 31/30 警備31が設置して警備30が回収





矢印の例: 37/後尾 警備37が設置して最後尾が回収



三ツ境～サーフビレッジコース図.1

三ツ境～湘南台コース図.1



主催：瀬谷ふさとウォーク大会実行委員会
 共催：瀬谷区スポーツ推進委員連絡協議会
 瀬谷区役所
 協賛：横浜瀬谷ロータリークラブ
 特定非営利活動法人 であっかいそら

Bへ続く ※右へ



右の細い道がぬかるんでいる時は魚の指示で点線側へ

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社

新幹線

サーフビレッジまで 20km



和泉川のかわせみ

山王橋

東山橋

大池蔵

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

新幹線

大池蔵

カーブミラー

狭い道

板金工場

日枝神社前

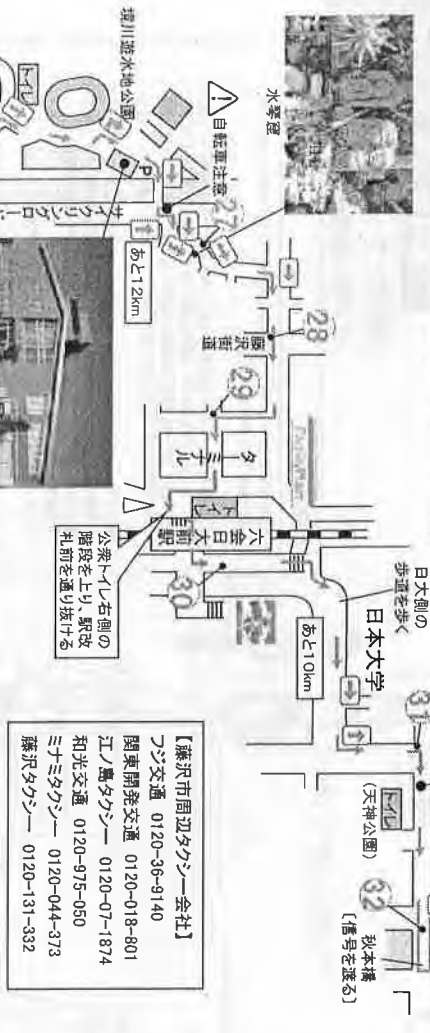
新幹線

大池蔵

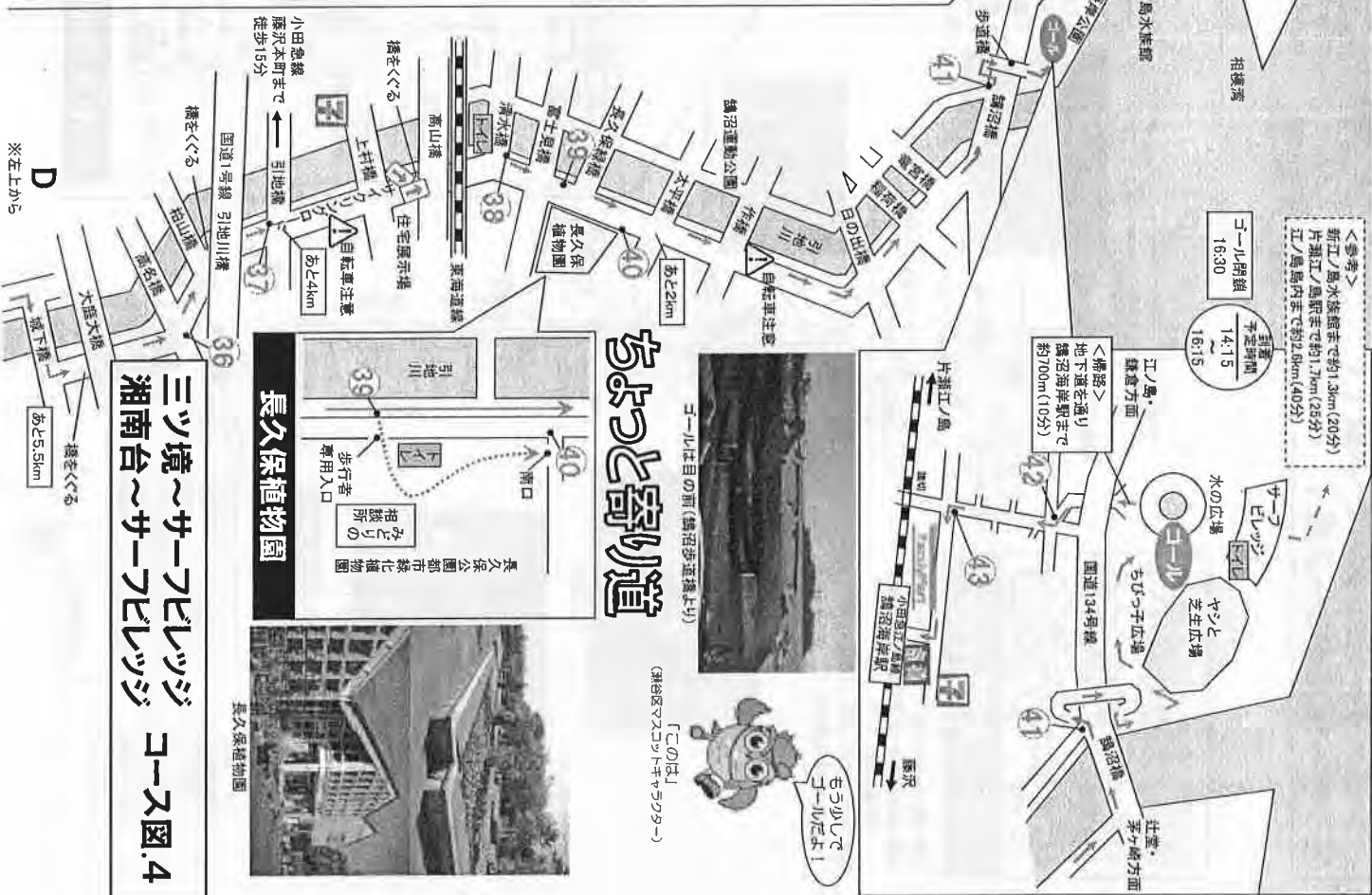
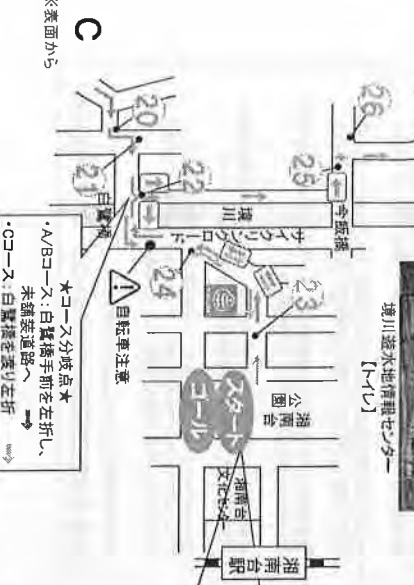


Dへ続く
※右下へ

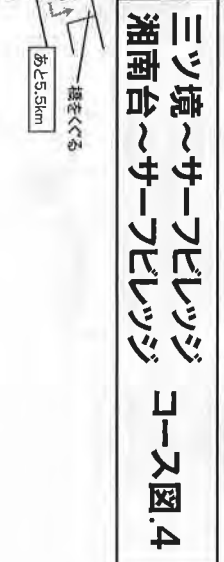
三ツ境～サーフビレッジ コース図.3



【藤沢市周辺タクシー会社】
フジ交通 0120-36-9140
関東関東交通 0120-018-801
江ノ島タクシー 0120-07-1874
和光交通 0120-975-050
ミナミタクシー 0120-044-373
藤沢タクシー 0120-131-332



ちよつと寄り道



IKANAZAWA Sports魂^{SOUL}

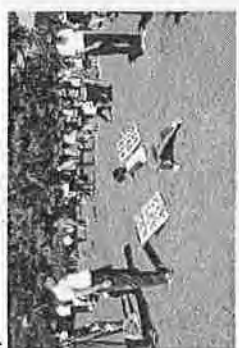
金 沢 区 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 通 信

発行所：金沢区スポーツ推進委員
編集所：金沢区スポーツ推進委員
編集：金沢区スポーツ推進委員
広報部会
事務局：金沢区役所 地域振興課内
TEL：045-788-7805
FAX：045-788-1937



これからのイベント教えます！

10/21 金沢まつり「いまいほフェスタ」



海の公園中央の芝生広場で、さわやかスポーツの体験会を行なっています。どなたでもできる簡単な楽しいスポーツです。是非、家族で遊びに来てください。今年ラグビー体験もあります。

10/29 横浜マラソン2017

参加ランナーが 25,000 人から 28,000 人に拡大された 42.195km を走る市民マラソンです。高速道路を走る、国内唯一のマラソン大会としても有名。スポーツ推進委員は沿道警備のお手伝いをしています。



2/11 金沢区ロープス大会及び小学生駅伝大会



小学生から大人まで、海の公園から八景島をさわやかに駆け抜ける大会です。小学生の駅伝は友達どうしでチームを組んで、熱いレースを繰り広げます。多数の参加をお待ちしています。

～創刊に寄せて～ 國原章弘 金沢区長



スポーツ推進委員の皆様には、日ごろから各種スポーツ大会の運営をはじめ、地区におけるスポーツ活動のサポート、横浜マラソンなどの大規模イベントの運営協力など幅広く活動いただき、本市のスポーツ振興において重要な役割を担っていただいております。
今後、ラグビーワールドカップ 2019™や東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催され、スポーツ推進委員の活動の場があります。広がります。これからスポーツ推進委員の皆様のご活躍にご期待ください。

金沢区スポーツ推進委員連絡協議会 常山正樹会長 あいさつ



私たちは金沢区民の皆様がスポーツやその他の行事を通じて元気に生活できるよう、地域で各種スポーツ大会の運営、各種競技の指導などを行っています。
現在、金沢区では131名のスポーツ推進委員が活動しています。
今回から広報誌を発行することになりました。各地域、金沢区や横浜市等での活動について区民の皆様にご報告させていただきます。

スポーツで地域をつなぎ、金沢区を熱く盛り上げます！ 現在金沢区では131名のスポーツ推進委員が活動しています。

スポーツ推進委員は、各自治会助内会長の推薦に基づき、横浜市長から委嘱された非常勤公務員です。地域に根ざしたスポーツ・レクリエーション振興事業を展開していく役割を担っています。



編集後記

金沢区スポーツ推進委員広報創刊号を最後までご覧いただき有難うございます。昨年9月より4名の広報委員（金沢南上村地区区長、六浦西、若杉地区区長、富岡第一、滝口地区区長、六浦、小池地区区長）によりスタートしたスポーツ推進委員広報を創刊することが出来ました。事務局である金沢区地域振興課の皆さんにも格別の協力をいただき感謝いたします。今後楽しんで見られる広報を目指したいと思います。

編集長 小池 誠

区内・市内での活動報告

4月 成人男女リフトボール大会

場所：釜利谷ひるば公園・能見台中央公園

金沢区の17チームが参加して、熱い試合を繰り広げました。グラウンズブリや審判をしました。



5月 世界トライアスロンシリーズ横浜大会

場所：山下公園周辺特設会場

2141,500m、バイク40km、ラン10kmの世界大会です。沿道整備のお手伝いをしました。



6月 春季成人女子バレーボール大会

場所：金沢スポーツセンター

金沢区の10チームが参加。女性たちの熱い戦いを、審判のサポートをしながら盛り上げました。



7月 夏季少年ソフトボール大会

場所：釜利谷ひるば公園

グラウンズブリと審判をしました。一生懸命な子供達のプレーに元気をもらいました。



9月 横浜シーサイドトライアスロン大会

場所：横浜・八景島シーパラダイス

地元・八景島で繰り広げられる白熱のレースを沿道整備で盛り上げました。



地区の活動をご紹介します

今回は六浦地区と六浦西地区の紹介です

六浦地区の活動

春のハイキングとシヤカイ毛堀り

毎年春に行われ、瀬戸神社をスタートし海の公園を経由し柴ヶ丘シーサイド里でシヤカイ毛堀りを行う行事です。かれこれ20年を超える歴史があります。今年も6月3日に行われ290名の方々が参加しました。

六浦ダンスパーティー

健康寿命を延ばそうをテーマに行っているダンスパーティーです。春、夏と年2回開催して、はや4年になります。今年5月に開催したパーティーでは小学生から90代の方まで150名の方々が参加しました。

秋のハイキングとミカン狩り

毎年秋に行われる行事です。行程は春のシヤカイ毛堀りと同じで柴ヶ丘シーサイド里で行われます。毎年参加者も増え昨年11月3日に行われた際の参加者は220名でした。

六浦西地区の活動

20の自治会・町内会のある地区でも、成人、高齢者すべての皆さんにスポーツとコミュニケーションの場を提供しています。



みんなの健康・笑顔のために



活動記録 2017年4月～2017年9月

スポーツ推進委員・社会体育振興委員会合同研修会

4月29日(土)に大和スポーツセンターにて開催され、今年の研修の内容は「コグニサイス」と「ミニバレー」でした。
「コグニサイス」は、脳と体を同時に使うことにより(運動と計算やしりとり)認知症の発症を予防しようとするプログラムです。皆様も一度体験してほしいかと思いますが、

加藤スポーツ推進委員研究大会



スポーツ推進委員宿泊研修会

9月2日(土)3日(日)の二日間にわたり箱治研修会を行いました。初日は長野県安曇野市の豊科勤労者総合スポーツ施設体育館で安曇野市のスポーツ推進委員会合同研修会を行いました。研修内容は「ワンバウンドから～ハールボール」と「ふわっとテニス」でした。「ふわっとテニス」は長野県丸子町発祥のニュースポーツです。ミックスタブルスが基本で、サーブも含め必ずワンバウンドしてから打たなくてはならず、ボールの軌道が「ふわっと」しているから「ふわっとテニス」と命名されたようです。2日目は場所を豊科パークホテルのグラウンドゴルフコースに移し、グラウンドゴルフの美技研修を行いました。

鷹巣市・榎須賀市・大和市 市交流研修会

9月24日(日)鷹巣市扶父屋記念体育館にて開催されました。美技研修内容は「ファミリーバドミントン」「キンボール」「フロッカー」「ベタンク」「キャッチ」「キャッチング」「ステイック」「リング・キャッチ・クロス」でした。午後は鷹巣市民会館に場所を移し、情報交換会を行い3市の交流を深め、来年は榎須賀市で再会することを確認し、散会しました。



リング・キャッチ・クロス

これからの平成29年度 主な行事予定

日時	行事	場所
11月5日(日)	第18回大和市親善競技大会	大和スポーツセンター
11月26日(日)	健康都市やまとフェア2017	文化創造拠点「シリウス」
1月14日(日)	第60回大和市駅伝競走大会	大和でこしこスタジアム発着・市内一般道路コース
2月11日(日)	第72回かねがね駅伝競走大会	桑野～相模湖

～鑑賞筆記～

陸上競技の桐生祥秀選手が、日本人初の100m9秒台をマークするなど、日々、スポーツの話題に事欠きません。身近なところから市民の皆さんにスポーツにふれあっていたらいいなと思う、今後とも努力一同、今後とも努めていきたいと思っております。



やまもと 第65号

スポーツ推進委員だより

発行日：平成29年9月30日

■目次

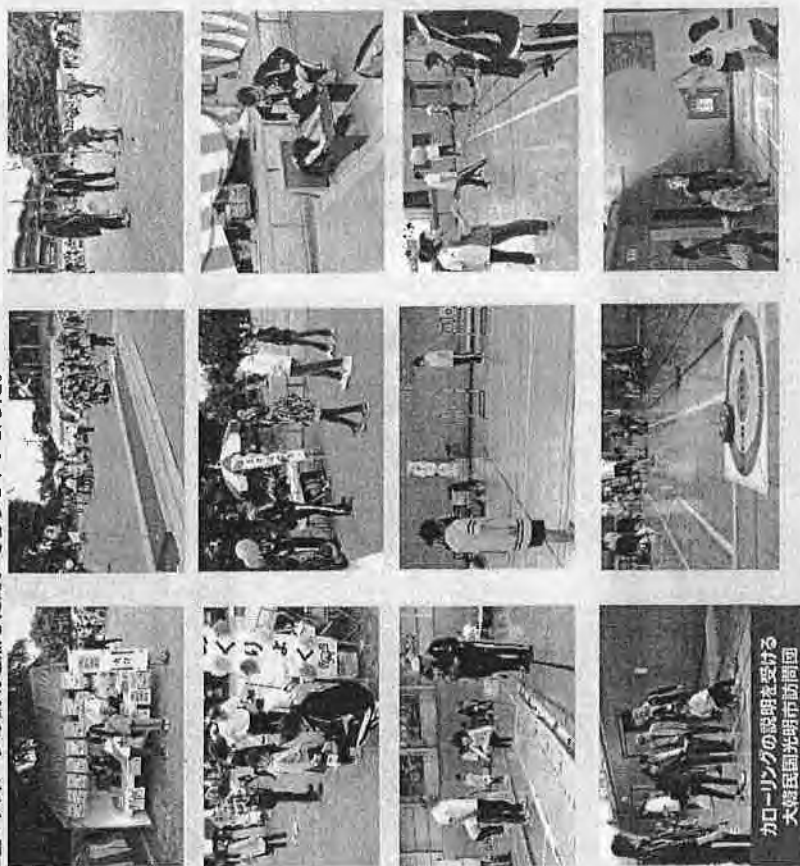
- 第40回大和市民まつり (P.1)
- スポーツフェスタ2017 (P.2)
- 特集：ニュースポーツ紹介 (P.3)
- スポーツ推進委員活動記録 (P.4)

発行 大和市スポーツ推進委員連絡協議会 広報部 (大和市文化スポーツ課内 046-260-5762)

第40回 大和市民まつり

体力測定！ ニュースポーツ体験！

5月13日(土)14日(日)引地台公園・引地台中学校体育館で開催されました。初日は雨となり体育館内のみでの開催となりましたが、2日目は晴天となり、屋外での種目も実施することができました。参加者は例年より少なかったものの、中には何度も挑戦される子供が居たりと市民天気の影響か、参加者に楽しんでいただけたかと思えます。また、今回、大韓民国光明市訪問団が視察に見えられ、ニュースポーツの説明を熱心に聞いてもらっていました。



カローリングの説明を受ける 大韓民国光明市訪問団

「健康都市やまこ」スポーツフェスタ2017

6月25日(日)大和スポーツセンターに於いて開催されました。雨の為、屋外イベントが密集中止されてしまいましたが、昨年より多い870名の方々にご来場頂き、笑顔あふれる一日となりました。

演技、体験イベント



フラダンス披露 体験

バラスポーツ ホッチャ

健康づくり推進コーナー、みんなであそぼ・そぼコーナー



又ホウフエスタ
2017
会場

弓道、スポーツ、ニュースポーツ体験コーナー



体力測定コーナー



みんなであそびようよ！ニュースポーツ紹介コーナー

大和市スポーツ推進委員連絡協議会が推進しているニュースポーツをいくつかご紹介いたします。大和市民まつりやスポーツフェスタなどに取り入れて、市民の皆さまに体験していただいています。

ミニバレー

ミニバレーのボール（直径2.5cm）を使って行われるミニバレーです。コートはバレーボールのコート、ネットの高さは1.85mとします。1チーム4～6人で構成し、コート内は4人が入ります。

サーブはサーブエリアの奥からバックハンドで相手コートへ入れます。ラリーは3回から5回の間で返します。腰より上ならどこでも構いません。アタリはコート内の全員ができますが、アタリラインを越えて打つのはできません。ルール上、バレーボールのようにネットが越えられないので、攻撃するといふよりラリーを楽しむニュースポーツです。



キヤッチング・ザ・スタック

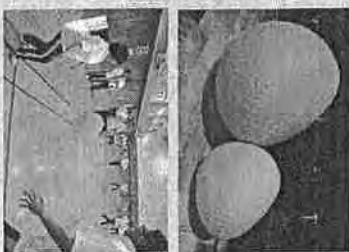


写真は体験のため8人でやっていきます

1チーム10人で行います。スタックの内8人が1人2本のスタックを両手で持ち、横一列に並びます。スタックを持っていない2人は列の左側につきまます。1人1人スタックを2回床に打ちつけた後、スタックを8人同時に投げ渡し、素早く右へ移動し右隣の人のスタック2本をキャッチします。右隣の人は速やかに左端へ移動します。こうして位置を変えながらスタックを倒さずに何回キャッチ（受け渡し）できるかを競います。人数が少ないときは横一列ではなく、参加者全員がスタックを持って円形になって行っても構いません。単独で簡単なようですが、参加者全員の息が合わないと続かないのでチームワークも必要なニュースポーツです。

クワッドパドルはるバレーボール

怪いおむすび型の変形ボールを使うバレーボール型ニュースポーツです。コートはバレーボールコート、ネットの高さは2mとします。1チーム5人以上8人以内で構成し、コート内は5人が入ります。参加者全員をローテーションの対象とします。サーブはコート内からセンターラインを必ず踏み、アンダーハンドで相手コートへ入ります。サーブは必ずアンダーハンドでラリーして3回で返します。以後は相手コートから返すボールは必ずアンダーハンドでラリーして3回で返します。ラリーは必ず異なる3人の手を経て相手コートに返さなければなりません。アンダーハンドでラリーは必ず異なる3人の手を経て相手コートに返さなければなりません。方向が決めないというバレーボールが得意な人が必ずしも優位でないのが楽しめるところです。



これらのニュースポーツの研修や説明会はスポーツ推進委員会が中心となって行っています。研修会の開催依頼、用具借用のご相談は、各地区体育振興会、または大和市スポーツ課へお気軽にお問い合わせください。

区災害ボランティアネットワークブロック別連絡会

市内を4つのブロックに分けて、災害時の相互連携に向けた日常的な関係づくりを目的として、平成25年度より区災害ボランティアネットワークブロック別連絡会を継続的に実施しています。

<ブロックについて>

- Aブロック：鶴見・神奈川・西・中・南
- Bブロック：港南・磯子・金沢・戸塚・栄
- Cブロック：保土ヶ谷・旭・泉・瀬谷
- Dブロック：港北・緑・青葉・都筑

<内容>

- 各区の取り組み状況の共有
- 災害ボランティアセンター運営マニュアルの共有などブロックの状況に合わせた内容

<助成金について>

平成29年度より、ブロックごとの研修等に対して活動費の助成（年間上限3万円）を行います。申請方法等につきましては、事務局にお問合せ下さい。



ブロックで行った犬と人間の様子

私達と一緒に取り組むませんか「会員募集中」「いざ」に備えて顔の見えるネットワークづくりにご参加ください！

横浜災害ボランティアネットワーク会議とは！？

横浜災害ボランティアネットワーク会議は阪神淡路大震災での教訓をもとに、横浜でも災害時に備えて平常時からボランティア団体間の相互交流をはかっていること、1996年5月18日に設立しました。現在横浜市内で活動している82のボランティア団体・組織・グループと、12人の個人会員が加盟しています。ネットワーク会議では、シンポジウムや災害時の情報伝達・コミュニケーションやコーディネーター養成講座、広報活動を展開し、啓発的な活動をすすめていくと共に、行政と連携した復興支援活動についても具体的な方策をまとめていくことにします。

活動内容

- 交流と情報交換
- 災害に備えたコミュニケーション訓練
- 災害ボランティアコーディネーターの養成
- 災害情報等の収集・提供 各機関との連携



128 市域で行った団上コミュニケーション開催

詳しくは、「横浜災害ボランティアネットワーク」で検索！

NEWS LETTER

横浜災害ボランティアネットワーク会議

編集・発行：横浜災害ボランティアネットワーク会議

〒201-8482 横浜市中区杉木町1-1 横浜市健康福祉総合センター3階

社会福祉法人横浜福祉総合センター

TEL 045-201-8520 FAX 045-201-1020

HP <http://www.yokohama-daiichi-vol-net.jp/archives/>

E-mail saiyoku@yokohama-daiichi-saigyo-shin.jp



2017年10月発行 No.58

横浜災害ボランティアネットワーク会議 平成29年度 総会

【第一部：会員向け研修会】

テーマ：【災害時における女性や子ども等受援者のボランティアニーズとは】

講師：国崎 信江氏（危機管理研究所 危機管理アドバイザー） 参加者：64名
講師の国崎さんは、平成28年4月に起きた熊本地震において、発災直後から熊本県益城町で支援活動開始しました。益城町防災アドバイザーに就任し、避難所の運営支援や環境改善、保育園や幼稚園の早期再開支援を行いました。

保育園や幼稚園が早期に再開することで、仕事に早く復帰できる女性職員が増えること、園などの施設の復旧は差内の片付け等力仕事でもあり、災害ボランティアセンターに依頼するのは地域住民という認識も手伝って、ニーズを発信できなかった子どもも自分で考えていくヒントをいただきました。

アセンターから声を掛けることも大切、というお話をいただきました。また、避難所でのトイレの設置の工夫が必要など犯罪に巻き込まれやすい女性や子どもも目で考えていくヒントをいただきました。

また、横浜という大都市での被災は県外からのボランティアも多くなることが予想されるため、横浜らしく制度などを十分に活用し、地域住民と一緒に協力しながら、乗り切っていく横浜スタイルを作り上げていくことが必要ではないかとアドバイズがあり、1時間という短い時間でしたが、今後の課題を改めて見直す必要を感じました。



講師：国崎 信江氏



【第二部：総会】

横浜災害ボランティアネットワーク会議の「総会」が、上記研修会終了後、開催されました。

日時：平成29年6月15日（水） 19：40～20：35

場所：横浜市健康福祉総合センター8階 大会議室AB

参加：出席 35組、委任状 28組

内容：平成28年度事業報告 / 平成29年度以降の基本方針および事業計画など

状況：議事にそって進行し、全て承認されました。



29年度計画の主な事業

- ・支援者向け災害ボランティアコーディネータースキルアップ研修の開催
- ・会員向け研修会
- ・災害ボランティアセンター・団上コミュニケーション・市災ボラ支援センター立ち上げコミュニケーション
- ・区災害ボランティアネットワーク連絡会（全区対談の連絡会及びブロック別連絡会等）



活動紹介

横浜災害ボランティアネットワーク会議 会員紹介

横浜災害ボランティアネットワーク会議には平成29年8月現在82団体12個人の会員が加入しています。今年度に入り新たに加わりたい「認定NPO法人かながわ311ネットワーク」を含め4団体の会員の活動紹介をさせていただきます。

公益社団法人 横浜市身体障害者団体連合会

横浜市身体障害者団体連合会は、昭和26年に発足した横浜市身体障害者福祉協会をその前身として、昭和60年に社団法人横浜市身体障害者団体連合会に改称、平成25年には公益社団法人に移行しました。連合会には肢体・視覚・聴覚・内部障害に関係する10団体が加盟し、身体障害者の自立と社会参加を目指して、外出支援やポータル・レクリエーション事業、共生社会づくりに向けた啓発など各種の活動を行っています。



第32回横浜市身体障害者運動会の様子



128 障壁のないボランティアセッションの様子

災害時の避難支援、避難生活でのバリアフリー環境やコミュニケーション・情報支援など、障害の特性に応じた対応にも不安を感じています。当団体が事務局となっている障害者社会参加推進センターでは、本年3月に「横浜市障害者団体災害対策指針」を作成、災害に備えた自助・共助の取組み事項をまとめ、知的障害や精神障害の団体とも共有を図ったところです。地域に住む障害者や高齢者等の災害時に手助けが必要な方への支援に、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

協賛先・防災ボランティアネットワーク



設立10周年記念講演会(2015.12.10)

平成16年10月の台風22号は区内に大きな水害をもたらし、協会のボランティア部会で急遽召集をかけて集めた約30名のボランティアが即被災現場に入り、その後数か月に亘って活動しました。このことが契機になり勉強会を経て「災・防災ボランティア」(略称)は平成18年10月に設立されました。

「防災」のネーミングの通り、防災力向上を目指すため、ボランティア団体・福祉施設・当事者団体・自治会などを含む32団体と39名の個人が参加し、平時には研修会・勉強会や、防災講座などの活動を行っていますか、特に要援護者への支援を丁寧に行っています。

また、第一の目的である災害時に設置される「災害ボランティアセンター」の開設・運営に協力するための訓練も毎年様々な切り口で取り組んでいます。地域防災拠点や自治会との連携は、災害時最もより平時の防災力向上に欠かせません。今後も活動を通して一歩一歩進めていきたいと考えています。

ホームページはコチラ



第11回災害ボランティアセンター開設訓練(秋田県産 2017.2.20)

都筑区災害ボランティアネットワーク

都筑区災害ボランティアネットワークは、平成21年度から「災害ボランティアセンターコーディネーター会議」として活動を始め、平成27年度に災害ボランティアネットワークとして団体化しました。今年度は、①会員のコーディネーターネットワークのスキルアップ、②地域防災拠点との連携強化、③会員数の拡大を年度目標とし、自治会町内会や地域防災拠点関係者、ボランティア等の活動者30名あまりのメンバーで活動しています。

主な取組としては、年数回の定例会・防災関係団体及び公共機関等と連携し区民への防災啓発を行う「つき防災フェア」、災害ボランティアコーディネーターの育成を目的とした「つき防災セミナー」、そして、災害ボランティアコーディネータースキルアップ、及び災害ボランティアセンターのPRを目的とした「災害ボランティアセンターのコミュニケーション制」などを開催している他、災害時の情報伝達を想定した地域防災拠点訓練への協力も行っていきます。

今年度の主な活動予定

①「つき防災セミナー」

日時：平成29年10月28日(土) 13:30～16:00
内容：講演「阪神淡路大震災を乗り越えて人々を救った人の心」
講師：元神戸市立瀧野中学校 校長 近藤 豊宣 様
氏名「近藤 豊宣」(災害時における都筑区内の防災意識を高める)

②「災害ボランティアセンターコミュニケーション制」

日時：平成29年11月25日(土) 14:00～16:30
内容：災害ボランティアセンターの紹介、災害ボランティアコーディネーターの体験
※会場はいつでも「かわはし都筑(都筑区荏田東4-10-3 港北ニュータウンまちづくり館内)」
※内容は変更になることがあります。



防災フェアの様子



H28 シミュレーション訓練

都筑区災害ボランティアネットワークでは、災害時に災害ボランティアのコーディネート活動をするメンバーを募集しています。関心をお持ちでしたいた方は、定例会や各種イベントへの参加をお願いします。

今年度新しく加入いただいた、団体の紹介です。

認定NPO法人 かながわ311ネットワーク

今年度より仲間入りさせて頂きました。東日本大震災のボランティア活動で知り合った仲間です。平成25年度法人化、平成28年に認定資格を取得しました。東日本大震災での活動経験を生かし、災害被災地の緊急支援活動、防災教育事業に取り組むとともに、被災地復興支援活動も行っています。

東北支援の際に、「神奈川にも大きな災害が必ずくるから、しっかりと備えておきなさい」と多くの方から書かれました。これが私たちの活動の原点です。過去に学び、未来にどう生かすのか、教員経験のあるメンバーが中心となり、「自分のいのちを守ることで子どもを育てるために」主に学校での防災教育に取り組んでいます。「防災教育フアンシリター」として、地域特性と学校事情を理解し、防災の知識をあわせて人材育成も行っています。今年度は横浜市教育委員会から「横浜市安全担当教員研修」をご依頼いただきました。その他各所からお声掛けいただき、イベント等にも出張していきます。詳しくは当団体ホームページをご覧ください。



防災教育フアンシリター-9-平成28年度 1000 の様子



被災向け研修会の様子

ホームページはコチラ

